EPSON

CPS ソフトリッパー Plus

取扱説明書

PostScript® ソフトウェアインタープリタ (For Macintosh®)

本製品をインストールするにはライセンス番号が必要です。本書の中表紙にライセンス番号が記載されていますので、本製品の CD-ROM と合わせて大切に保管して紛失しないようにしてください。



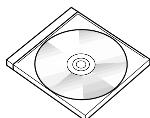
Adobe® PostScript® 3™

4032060-00
XXX

同梱物の確認

このたびは、EPSON製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。箱を開けたら、まず以下の内容物がすべて揃っているか確認してください。同梱品に不足しているもの、損傷しているものがございましたら、お買い求めいただいた販売店までご連絡ください。

■ インクジェットプリンタ用CPSソフトリッパー Plus CD-ROM



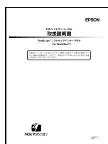
本製品や下記の説明書を収録したCD-ROMです。ライセンス番号を記載した本書とともに大切に保管してください。

■ ポストスクリプト・ロゴシール



何らかの理由でプリンタを修理に出す際には、PostScript プリンタであることを識別するために、このポストスクリプト・ロゴシールが必要です。本製品をインストールしたら、このシールを、プリンタ本体の正面（右上部）に貼り付けてください。

■ 取扱説明書（本書）



必ずお読みください。本製品をご使用になるにあたっての注意事項および本製品のセットアップと使い方が記載されています。

以下の補足説明書とQ&A集は、本製品に添付の上記CD-ROM内にPDF（Portable Document Format）ファイルとして収められています。このファイルをお読みいただくには、Adobe社のAcrobat® Reader（バージョン4.0以降）が必要です。詳しくは、以下のページをお読みください。

本書83ページ「電子マニュアル（PDFファイル）について」

■ 補足説明書 ～市販フォントのインストールについて～



本製品に添付されている標準フォント以外の市販フォントをインストールする場合に、お読みください。各フォントをインストールする際の注意事項などが記載されています。

■ Q&A集 ～困ったときにお読みください～



各種トラブルの解決方法や、お客様からお問い合わせの多い項目の対処方法について説明しています。「印刷できない」などのトラブルでインフォメーションセンターへお問い合わせいただく前に、お読みください。

CPS ソフトリッパー Plus

取扱説明書

PostScript® ソフトウェアインタープリタ
(For Macintosh®)

― はじめに ―

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品は、エプソンプリンタをPostScriptカラープリンタとして使用できるようにするソフトウェアです。

ご使用前に本書をよくお読みいただき、正しい取り扱いをお願いいたします。

― ライセンス番号 ―

このライセンス番号を紛失されますと、PostScriptプリンタとして使用できなくなり、CPS ソフトリッパー Plus を再購入していただくことになります。メモを取って保管されますよう、お願いいたします。

― シリアルナンバー ―

4032060

もくじ

はじめに

セットアップ

印刷するには

PS サーバについて

付録



はじめに

ここでは、本製品をお使いいただく前に知っておいていただきたいことを説明します。

本製品の特長

本製品の特長は次の通りです。

■ PostScript 印刷を実現するアプリケーションソフトウェア

本製品は、Macintosh と接続したエプソンインクジェットプリンタを PostScript プリンタとしてお使いいただくためのアプリケーションソフトウェアです。プリンタ本体が PostScript に対応していなくても、本製品を使って PostScript プリンタとして使用できます。本製品は PowerPC ネイティブ対応のパワーアプリケーションソフトウェアですが、一般の PostScript プリンタと同じ感覚で［セレクタ］から選択して使用できます。

■ プリントサーバ機能

本製品はプリンタと Macintosh を 1 対 1 で接続するスタンドアローン環境で使用できます。さらに、ネットワーク環境でプリントサーバとしても使用できるので、複数のクライアント Macintosh で本製品を共有して印刷できます。

■ ファイルの直接印刷

PostScript ファイル、EPS ファイル、PDF（Ver. 1.3）ファイルにネイティブ対応しています。例えば、これらの形式のファイルをアプリケーションを起動することなく印刷できます。

■ 市販フォントが利用可能

本製品の標準フォント以外にも、市販の様々な PostScript フォントをダウンロードして使用できます。（一部のフォント以外は、各フォントパッケージに添付されている標準のインストーラがそのまま使用できます。）

市販のプリンタフォントは、本製品をインストールした 1 台のホスト Macintosh にインストールします。ネットワーク環境のクライアント Macintosh にはスクリーンフォントや ATM フォントをインストールするだけで済みます。

■ オフセット印刷機色のシミュレーション機能を搭載

本製品は「CMYK シミュレーション機能」を搭載しています。最終的にオフセット印刷機で印刷する CMYK 色をシミュレート（再現）できます。シミュレートできる印刷機の色は、「DIC」、「TOYO」、「SWOP」、「Euro」の 4 つの中から選択できます。さらに、カスタムプロファイルを使用することで、上記 4 種類以外の CMYK シミュレーションが可能です。

■ RGB カラーのシミュレーション機能を搭載

本製品は「RGB シミュレーション機能」を搭載しています。RGB プロファイルを使用して、RGB カラーをシミュレート（再現）できます。シミュレートできる印刷機の色は、代表的な「Adobe RGB」、「Apple RGB」、「CIE RGB」、「sRGB」、「NTSC」、「PAL/SECAM」など 9 つの中から選択できます。さらに、カスタムプロファイルを使用することで、標準以外の RGB シミュレーションが可能です。

■ EPSON カラーキャリブレータ（オプション）に対応

オプションの EPSON カラーキャリブレータを使ってプリンタキャリブレーションを行うことができます。本製品を使って印刷したキャリブレーションシートの色を EPSON カラーキャリブレータで測定してキャリブレーションプロファイルを作成し、本製品でそのプロファイルを読み込みます。これにより、プリンタそのものの色補正を行い、印刷時にその本来の色を引き出すことができます。

ファイル、フォルダについて

CD-ROM 内のファイル、フォルダ

本製品の CD-ROM の内容について説明します。

■ はじめにお読みください



このファイルには、注意事項や最新の追加情報を記載しています。セットアップを始める前に、このファイルを必ずお読みください。

■ インストーラ



本製品のインストーラです。「XX-xxxxx」にはプリンタの機種名が表示されます。PS サーバ本体をインストールするときに使用してください。

ネットワーク環境のクライアントコンピュータに本製品をセットアップするときは、インストーラを起動してカスタムインストールを行ってください。

■ PDF マニュアル（補足説明書、Q&A 集）と Acrobat Reader



［PDF マニュアル］フォルダには、市販フォントのインストール方法を説明した「補足説明書」と、お客様から多くよせられるご質問とその回答をまとめた「Q&A 集」が入っています。これらは PDF（Portable Document Format）ファイルです。

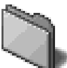


［Acrobat Reader］フォルダには、Adobe 社の Acrobat Reader のインストーラが入っています。上記の「補足説明書」と「Q&A 集」をお読みいただくには、Acrobat Reader が必要です。

電子マニュアル（PDF ファイル）の読み方や印刷方法ついては、以下のページをお読みください。

☞ 本書 83 ページ「電子マニュアル（PDF ファイル）について」

■ AdobePS



［AdobePS］フォルダには、Adobe 社のプリンタドライバのインストーラが入っています。このインストーラは本製品をセットアップしませんので、ほとんどの場合単独でこのインストーラを使用する必要はありません（本製品のインストーラが自動的にこのインストーラを起動して、必要なファイルをインストールします）。

インストールされるファイル、フォルダ

本製品をセットアップすると、次のファイルやフォルダがハードディスクにインストールされます。

■ PS サーバ



本製品の本体アプリケーションソフトウェアです。[セレクタ]でプリンタドライバを選択する前に、必ず起動します。ホストコンピュータの［CPS ソフトリッパー Plus］フォルダにインストールされます。ネットワーク環境でのクライアントコンピュータには、必要ないのでインストールされません。

■ AdobePS



PostScript プリンタを制御するためのプリンタドライバです。［セレクタ］からこのプリンタドライバを使って PS サーバを選択します。［システムフォルダ］内の［機能拡張］フォルダにインストールされます。



- プリンタドライバ「AdobePS」は、ほかの PostScript プリンタを選択する場合にも使用できます。
- MS-Word、MS-Excelなどの QuickDraw対応のアプリケーションソフトウェアや、TrueType フォントを使用する場合は、本製品ではなく、各プリンタに標準添付されているプリンタドライバを使用することをお勧めします。
- PostScript プリンタとして使用しない場合も、各プリンタに標準添付されているプリンタドライバをお使いください。

■ PPD ファイル

各プリンタの特性を記述したファイルです。［機能拡張］フォルダ内の［プリンタ記述ファイル］フォルダにインストールされます。［セレクタ］の［作成］ボタンで、各プリンタ専用の PPD ファイルが自動的に選択されます。

■ プリンタフォント

本製品で印刷できるフォント（書体）です。次の標準プリンタフォントがホストコンピュータの所定のフォルダにインストールされます。

漢字書体	CIDフォント2書体 平成明朝-W3、平成角ゴシック-W5
欧文書体	136書体 AlbertusMT、AlbertusMT-Italic、AlbertusMT-Light、AntiqueOlive-Bold、AntiqueOlive-Compact、AntiqueOlive-Italic、AntiqueOlive-Roman、Apple-Chancery、Arial-BoldItalicMT、Arial-BoldMT、Arial-ItalicMT、ArialMT、AvantGarde-Book、AvantGarde-BookOblique、AvantGarde-Demi、AvantGarde-DemiOblique、Bodoni、Bodoni-Bold、Bodoni-BoldItalic、Bodoni-Italic、Bodoni-Poster、Bodoni-PosterCompressed、Bookman-Demi、Bookman-DemiItalic、Bookman-Light、Bookman-LightItalic、Carta、Chicago、Clarendon、Clarendon-Bold、Clarendon-Light 、CooperBlack、CooperBlack-Italic、Copperplate-ThirtyThreeBC、Copperplate-ThirtyTwoBC、Coronet-Regular、Courier、Courier-Bold、Courier-BoldOblique、Courier-Oblique、Eurostile、Eurostile-Bold、Eurostile-BoldExtendedTwo、Eurostile-ExtendedTwo、Geneva、GillSans、GillSans-Bold、GillSans-BoldCondensed、GillSans-BoldItalic、GillSans-Condensed、GillSans-ExtraBold、GillSans-Italic、GillSans-Light、GillSans-LightItalic、Goudy、Goudy-Bold、Goudy-BoldItalic、Goudy-ExtraBold、Goudy-Italic、Helvetica、Helvetica-Bold、Helvetica-BoldOblique、Helvetica-Condensed、Helvetica-Condensed-Bold、Helvetica-Condensed-BoldObl、Helvetica-Condensed-Oblique、Helvetica-Narrow、Helvetica-Narrow-Bold、Helvetica-Narrow-BoldOblique、Helvetica-Narrow-Oblique、Helvetica-Oblique、HoeflerText-Black、HoeflerText-BlackItalic、HoeflerText-Italic、HoeflerText-Ornaments、HoeflerText-Regular、JoannaMT、JoannaMT-Bold、JoannaMT-BoldItalic、JoannaMT-Italic、LetterGothic、LetterGothic-Bold、LetterGothic-BoldSlanted、LetterGothic-Slanted、LubalinGraph-Book、LubalinGraph-BookOblique、LubalinGraph-Demi、LubalinGraph-DemiOblique、Marigold、Monaco、MonaLisa-Recut、NewCenturySchlbk-Bold、NewCenturySchlbk-BoldItalic、NewCenturySchlbk-Italic、NewCenturySchlbk-Roman、NewYork、Optima、Optima-Bold、Optima-BoldItalic、Optima-Italic、Oxford、Palatino-Bold、Palatino-BoldItalic、Palatino-Italic、Palatino-Roman、StempelGaramond-Bold、StempelGaramond-BoldItalic、StempelGaramond-Italic、StempelGaramond-Roman、Symbol、Tekton、Times-Bold、Times-BoldItalic、Times-Italic、Times-Roman、TimesNewRomanPS-BoldItalicMT、TimesNewRomanPS-BoldMT、TimesNewRomanPS-ItalicMT、TimesNewRomanPSMT、Univers、Univers-Bold、Univers-BoldExt、Univers-BoldExtObl、Univers-BoldOblique、Univers-Condensed、Univers-CondensedBold、Univers-CondensedBoldOblique、Univers-CondensedOblique、Univers-Extended、Univers-ExtendedObl、Univers-Light、Univers-LightOblique、Univers-Oblique、Wingdings-Regular、ZapfChancery-MediumItalic、ZapfDingbats

■ スクリーンフォント

画面表示用のフォントです。ホストコンピュータとクライアントコンピュータの［システムフォルダ］内の［フォント］フォルダにインストールされます。


ポイント

欧文書体は、インストーラの［簡易インストール］ではインストールされません。［カスタムインストール］を選択してインストールしてください。

■［PS ユーティリティ］フォルダ



［CPS ソフトリッパーPlus］フォルダのほかに、［PS ユーティリティ］フォルダがインストールされます。このフォルダは、どの場所（フォルダ）へ移してもかまいません。次のユーティリティが入っています。

- PS ソフトリップフォントインストーラ
  過去に市販されていた OCF フォーマットのモリサワフォント／ Adobe Type Library1.0J フォントを本製品用にインストールするための専用フォントインストーラです。このインストーラの使い方については、補足説明書（PDF ファイル）をお読みください。

- PS ソフトリップ FW インストーラ v4.5
  市販の FONTWORKS 社製 OCF フォントを本製品用にインストールするための専用フォントインストーラです。FONTWORKS 社のインストーラ V4.5 と組み合わせて使用します。このインストーラの使い方については、補足説明書（PDF ファイル）をお読みください。


ポイント

- CID フォーマットの市販フォントは、各フォントパッケージに標準添付されているインストーラがそのまま使用できます。インストール方法などについては、各フォントの取扱説明書をお読みいただくか、各フォントメーカーにお問い合わせください。
- OCF フォーマットの市販フォントをインストールする場合は、本製品添付の「補足説明書」（PDF ファイル）をお読みください。

- QuarkXPress 用 PDF ファイル
  QuarkXPress 3.11 から印刷する際に必要となるファイルです。使い方については、以下のページをお読みください。
  ☞ 本書 78 ページ「QuarkXPress 3.11」

■ その他のファイル・フォルダ

ホストコンピュータにインストールされる［CPS ソフトリッパーPlus］フォルダには、PS サーバやプリンタフォント以外にも、様々なファイルやフォルダが入っています。すべて本製品が印刷を行う際に必要となるファイル・フォルダです。


ポイント

- インストールしたハードディスク内であれば［CPS ソフトリッパーPlus］フォルダ全体をほかの場所（フォルダ）へ移すことはできますが、内部のファイルやフォルダを削除したり、別の場所へ移さないでください。印刷できなくなります。
- ［CPS ソフトリッパー Plus］フォルダ内には、インストーラによってインストールされたもの以外のファイルやフォルダを追加・新規作成しないでください。PS サーバはこのフォルダ内の必要情報を検索しながら動作するため、正常に印刷できなくなる場合があります。

ネットワーク環境について

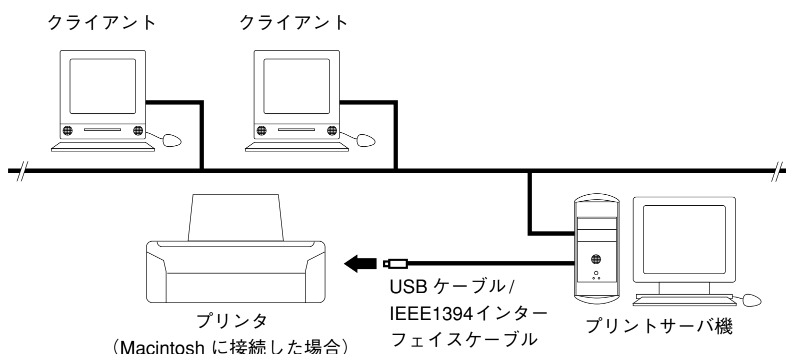
本製品は、2 台以上の Macintosh を接続してのネットワーク環境下でご使用になれます。ここでは、ネットワーク環境の概念と、制限事項について説明します。

ネットワーク環境とは

本製品では、プリンタと Macintosh が USB ケーブル、または IEEE1394* インターフェイスケーブルで 1 対 1 に接続されていても、2 台以上の Macintosh が Ethernet インターフェイスで接続されてさえいれば、それを「ネットワーク環境でプリンタを使用する」と言います。

* プリンタにオプションのIEEE1394 インターフェイスカードを装着できるかは、お使いのプリンタの取扱説明書をお読みください。

<概念図 1：図はクライアント 2 台の場合ですが、複数のクライアントを接続できます。>



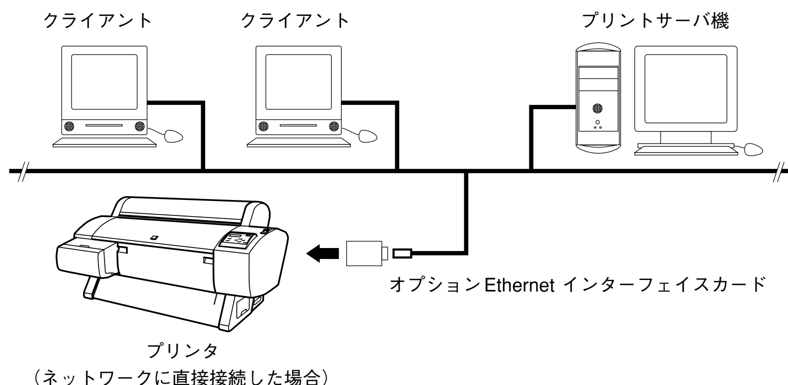
この場合、プリンタと直接接続されている Macintosh を「プリントサーバ機」と言い、その他の Macintosh を「クライアント」と言います。プリンタは、どの Macintosh からも利用できます。

クライアントから印刷する場合、クライアントの［セレクタ］から見ると「プリントサーバ機」上の本製品は 1 台の「PostScript プリンタ」として扱えます。本製品（PS サーバ）に送られた印刷データは、EPSON プリンタ用データに変換され、印刷されます。

プリンタ[*] によってはオプションの Ethernet インターフェイスカードを取り付けることで、Ethernet ネットワークに接続して、複数の Macintosh でプリンタを共有することもできます。＜概念図 2 ＞は、一般的なネットワーク環境を示しています。

* プリンタにオプションの Ethernet インターフェイスカードを装着できるかどうかについては、お使いのプリンタの取扱説明書をお読みください。

＜概念図 2：図はクライアント 2 台の場合ですが、複数のクライアントを接続できます。＞



しかし、このネットワーク環境で本製品をお使いいただくと、プリントサーバ機は印刷のたびに大量のイメージデータをネットワーク経由でプリンタへ送り出しますので、ネットワーク全体のトラフィックが増大して、ネットワークの運用効率が著しく低下します。


ポイント

ネットワーク環境でご使用いただく場合の注意

ネットワーク環境で本製品を最も効率よくお使いいただくには、前ページの＜概念図 1 ＞で示すネットワーク環境のように「プリンタ」と「プリントサーバ機」を USB ケーブルまたは IEEE1394 インターフェイスケーブルで接続し、プリントサーバ機に処理能力の高い Power Macintosh を割り当ててクライアントから送られてきた印刷データの処理に専念させてください。この場合、Macintosh とプリンタを 1 台ずつで接続する「スタンドアローン環境」でお使いいただくよりも、高速に印刷作業を行います。



セットアップ

ここでは、本製品をお使いいただくためのセットアップについて説明します。

必要なシステム

本製品を使用するために必要なハードウェアおよびシステム条件は、次の通りです。

動作可能コンピュータ

コンピュータ	Apple Power Macintosh（G3、G4、PowerBook、iMac、iBook）
CPU	PowerPC 以上（PowerPC G3 300MHz以上を推奨）
OS[*1]	Mac OS 8.6、9.x（ColorSync 2.5 以上が必要）
メモリ	最小 48MByte 以上（推奨 96MByte 以上）
ハードディスク	200MByte 以上の空き領域
インターフェイス[*2]	USB、Ethernet または IEEE1394（FireWire） 上記各インターフェイスを標準装備した Macintosh でのみ動作を保証します。

*1 本製品はMac OS X には対応していません。

*2 標準またはオプションのインターフェイスは、プリンタによって異なります。プリンタ本体の取扱説明書をお読みください。



- ネットワーク環境で頻繁に印刷を行う場合、できるだけ高速な CPU を搭載した Macintosh に PS サーバをセットアップすることをお勧めします。
- PS サーバはアプリケーションソフトウェアです。複数のアプリケーションソフトが起動できるよう、十分なメモリがあるコンピュータにセットアップすることをお勧めします。

動作可能プリンタ

本製品は、以下のプリンタでご利用いただけます。ただし、ご利用いただける機能はプリンタによって異なり、本書の該当するページで言及しています。

CPS ソフトリッパー Plus 製品型番	対応プリンタ機種名
PXCPSRP10	PM-4000PX
PXCPSRP20	PX-7000、PX-9000



- プリンタによって搭載インターフェイスが異なりますが、どのインターフェイス（標準またはオプション）でも本製品をご利用いただけます。ご利用いただける標準インターフェイスやオプションの I/F カードについては、プリンタ本体の取扱説明書をお読みください。
- 何らかの理由でプリンタを修理に出す際には、PostScript プリンタであることを識別するために、同梱の PostScript ロゴシールを必ずプリンタ本体（正面またははっきりとわかる位置）に貼り付けた上で修理に出してください。

使用推奨アプリケーションソフト

本製品をお使いいただく場合、PostScript 対応アプリケーションソフトや EPS/PDF Ver.1.3 形式で保存できるアプリケーションソフトをお使いいただくことをお勧めします。

例： Adobe Illustrator、Adobe Photoshop、Adobe PageMaker、
Adobe Acrobat、FreeHand、QuarkXPress など

上記以外のアプリケーションソフトをお使いの場合は、プリンタに標準添付のプリンタドライバをお使いいただけます。

セットアップの前に

セットアップを始める前に

セットアップを始める前に、次の点に注意してください。



ディスク内の「はじめにお読みください」ファイルには、注意事項や最新の追加情報を記載しています。セットアップを始める前に必ずお読みください。

■ セットアップを開始する前に、必ずプリンタの動作確認を行ってプリンタに異常がないか確認してください。また、プリンタと Macintosh が正しく接続されているか確認してください。特に、プリンタが印刷可能な状態になっているか確認してください。プリンタの動作確認の実施方法については、プリンタ本体の取扱説明書をお読みください。

■ ウィルスチェックプログラムが Macintosh にインストールされている場合は、そのプログラムの機能を無効にしてからセットアップを始めてください。

■ ほかのアプリケーションソフトウェアがすでに起動している場合は、すべて終了させてからセットアップを始めてください。

■ Mac OS 9 に本製品をインストールされる場合は、[コントロールパネル] から [マルチユーザ] ダイアログを開き、[マルチユーザのアカウント] を [切] に設定してください。

■ 実際に表示される画面は、システムや使い方によって異なります。本書中の説明に使用している画面は、実際のものとは細部で異なる場合があります。ご了承ください。

■ 本製品を使用する場合は、[省エネルギー設定] の [スリープ設定] でスリープしないように設定してください。ホストコンピュータがスリープすると PS サーバが正常に動作しない場合があります。

セットアップの概略

本製品をご利用いただくためには、使用環境に合わせてセットアップしてください。以下のページを参照して使用環境を理解してから、セットアップを始めてください。

☞ 本書 7 ページ「ネットワーク環境について」

スタンドアローン環境で使用する場合や、ネットワーク環境でプリントサーバにセットアップする場合は、次の手順に従ってください。

① ［インストーラ］で PS サーバやプリンタドライバなどをインストールします。

☞ 本書 13 ページ「インストールの手順」

② PS サーバの初回起動時に、ライセンス番号を入力します。

☞ 本書 17 ページ「PS サーバの起動」
☞ 本書 19 ページ「ライセンス番号の入力」

ネットワーク環境でクライアントコンピュータにセットアップする場合は、次の手順に従ってください。

● ［インストーラ］を起動したらカスタムインストールを選択してクライアントのインストールを実行します（プリンタドライバなど、必要なファイルだけがインストールされます）。

☞ 本書 13 ページ「インストールの手順」

本製品のセットアップ

インストールの手順

本製品は以下の手順でインストールしてください。PS サーバをインストールする場合と、ネットワーク環境のクライアントコンピュータでインストールする場合とでは、❺と❻での手順が多少異なります。

❶ **Macintosh を起動します。**

本製品をインストールするシステムから Macintosh を起動します。

❷ **CD-ROM をセットします。**


ポイント

CD-ROM のウィンドウが開きますので、［はじめにお読みください］アイコンをダブルクリックして、必ずお読みください。

❸ **インストーラを起動します。**

CD-ROM 内の［インストーラ_XX-xxxxx*］アイコンをダブルクリックします。

* プリンタの機種名が表示されます。お使いのプリンタ専用のインストーラアイコンをダブルクリックしてください。



インストーラ_XX-xxxxx

ダブルクリックします

❹ **開始画面で［続ける］をクリックします。**

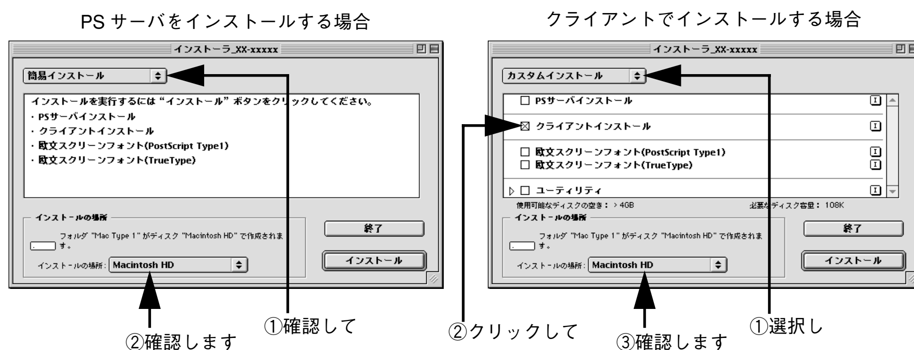
インストールが始まります。



クリックします

5 インストーラ画面の内容を確かめます。

- PS サーバをインストールする場合は、［簡易インストール］であることを確かめます。
- ネットワーク環境でクライアントコンピュータにセットアップする場合は、［カスタムインストール］を選択し、［クライアントインストール］をクリックしてチェックマークを付けます
- 起動ディスク名が［インストールの場所］リストに表示されていることを確かめます。

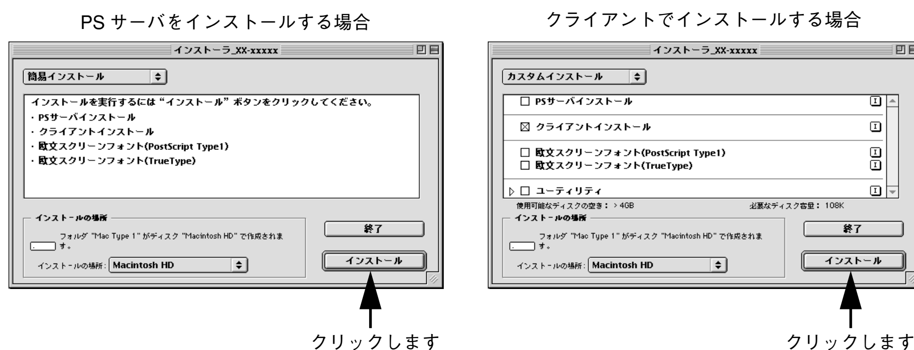




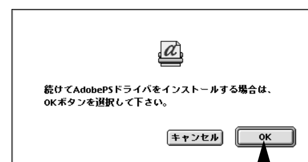
- PS サーバを初めてインストールする場合は、［簡易インストール］でインストールすることをお勧めします。インストールに必要なファイルがわかっている場合は、［カスタムインストール］を選択して、必要なファイルだけを選択してインストールできます。
- インストール先のフォルダを指定する場合は、［インストールの場所］リストから［フォルダの選択］をクリックして、インストール先のフォルダを開いて［選択］ボタンをクリックします。ただし、このときに起動ディスク以外を選択しないでください。

6 ［インストール］をクリックします。

画面が変わるまでしばらくそのままお待ちください。



7. **［OK］ボタンをクリックして、AdobePS ドライバをインストールします。**
すでに同じバージョンの AdobePS ドライバをインストールしている場合でも、［OK］ボタンをクリックしてください（プリンタに必要な PPD ファイルをインストールします）。



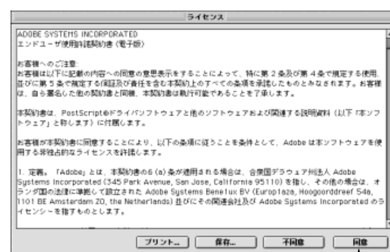
クリックします

8. **［続ける ...］ボタンをクリックします。**



クリックします

9. **画面のライセンス文を読んで、［同意］ボタンをクリックします。**



クリックします

10. **インストール画面を確認して、［インストール］ボタンをクリックします。**
PSサーバをインストールした同じ起動ディスク名が表示されていることを確認します。

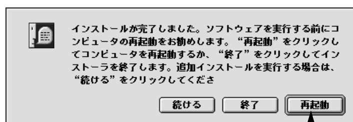


①確認して　②クリックします

11 ［再起動］または［終了］をクリックします。

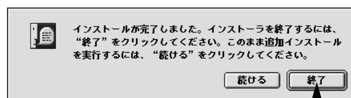
- サーバコンピュータにPSサーバをインストールした場合は、［再起動］をクリックしてMacintoshを再起動し、インストールしたソフトウェアを使用できるようにします。引き続きPSサーバを起動してライセンス番号を入力します。次ページへお進みください。
☞ 本書17ページ「PSサーバの起動」
- ネットワーク環境のクライアントコンピュータにプリンタドライバをインストールした場合は、［終了］をクリックしてインストーラを終了させます。PSサーバの設定は必要ありません。以下のページへ進んでください。
☞ 本書21ページ「この後は・・・」

PSサーバをインストールした場合



クリックします

クライアントでインストールした場合



クリックします

PS サーバの起動



PS サーバを初めて起動する前にプリンタの動作確認を行って、プリンタに異常の無いことを確認してください。動作確認の方法については、プリンタの取扱説明書をお読みください。

1. **プリンタの電源をオンにします。**

PS サーバを起動する前に必ずプリンタの電源をオンにし、プリンタの［印刷可］ランプ（［印刷可］ランプがない機種の場合は［電源］ランプ）が点灯していることを確かめます。

2. **Apple メニューの［コントロールパネル］から［省エネルギー設定］をクリックして、［スリープ設定］ダイアログでスリープしないように設定します。**



PS サーバをインストールした Macintosh（プリントサーバ）がスリープすると、PS サーバが動作せずネットワーク上のクライアントからも印刷できません。

3. **［セレクタ］で［AppleTalk］を［使用］に設定します。**

［セレクタ］は、アップルメニューから選択します。

- プリンタの接続形態にかかわらず、常に［使用］をクリックします。
- 設定を変更した場合は、警告ダイアログのメッセージを確認して［OK］ボタンをクリックします。





PS サーバを起動するには、［セレクタ］で必ず［AppleTalk］を［使用］に設定する必要があります。［不使用］に設定すると、PS サーバが起動できないので印刷できません。

4. **［セレクタ］を閉じます。**

クローズボックス（左上の□）をクリックして［セレクタ］を閉じます。

5 **PS サーバを起動します。**

［CPS ソフトリッパーPlus］フォルダ内の［PS サーバ］アイコンをダブルクリックします。



ダブルクリックします


ポイント

- 印刷の前には、［CPS ソフトリッパー Plus］フォルダ内の［PS サーバ］アイコンをダブルクリックして必ず PS サーバを起動してください。
- 本製品で頻繁に印刷する場合は、PS サーバのエイリアスを作成して、デスクトップ上などに置いておくと便利です。
- PS サーバのエイリアスを［システムフォルダ］内の［起動項目］フォルダの中に入れておくと、Macintosh の起動時に自動的に PS サーバを起動させることができます。

セットアップしてから初めて PS サーバを起動したときは、次に進んでライセンス番号を入力してください。

ライセンス番号の入力

PS サーバを初めて起動したときは、以下のダイアログが表示されます。使用するポートとプリンタの機種名を選択して、ライセンス番号を入力してください。



- ライセンス番号は、本書の中表紙に記載されています。
- 2 回目の起動からは、プリンタの選択やライセンス番号の入力は必要ありません。
- プリンタを接続するインターフェイスをあとで変更した場合は、プリンタを再選択する必要があります。
本書 73 ページ「プリンタの再選択」

1 プリンタを接続したポートを選択します。

- USB 接続の場合は、[USB] を選択します。
- IEEE1394 接続の場合は、[FireWire] を選択します。
- Ethernet ネットワークに接続している場合は、[AppleTalk] を選択します。



選択します
例：USB ポートを選択する場合

2 プリンタの機種名を選択します。

使用するプリンタの機種名を、リストから選択します。



選択します



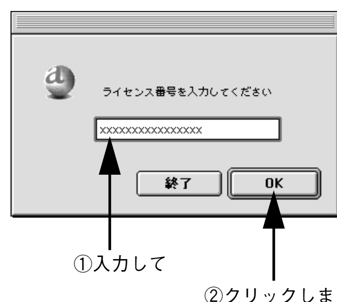
- USB ポートまたは FireWire ポートにプリンタを接続している場合、[USB] または [FireWire] を選択しているにもかかわらずリストに機種名が表示されない場合は、プリンタの電源がオフになっている可能性があります。プリンタの電源と接続を確認してください。
- 選択したポートやプリンタ名を対象に、ライセンス番号を入力します。誤って別のプリンタを選択しないように、注意してください。
- Ethernet ネットワーク環境で AppleTalk ゾーンを設定している場合は、プリンタが接続されているゾーンを選択してからプリンタ名を選択してください。
- Ethernet ネットワーク環境にプリンタを接続している場合で、使用するプリンタの名前が表示されない場合は、[スキャン] ボタンをクリックしてください。

3 [OK] ボタンをクリックします。

プリンタの電源がオンで印刷可能な状態にあれば、ライセンス番号の入力画面が表示されます。

4 **ライセンス番号を入力して［OK］ボタンをクリックします。**

- 本書の中表紙にあるライセンス番号を、そのまま入力します。アルファベットは、大文字・小文字の違いに注意してください。
- 入力したライセンス番号を確認して［OK］ボタンをクリックすると､PS サーバが初めて起動します。



（上記のライセンス番号はあくまでも例です）

5 **添付のポストスクリプト・ロゴシールを、プリンタ本体（正面またははっきりとわかる位置）に貼ります。**


ポイント

何らかの理由でプリンタを修理に出す際には、PostScript プリンタであることを識別するために、このシールが必要です。

以上で PS サーバのセットアップはすべて終了しました。

PS サーバの終了

起動している PS サーバを終了するには、PS サーバの［ファイル］メニューから［終了］を選択します。

本製品で印刷するには、PS サーバが起動している必要があります。しかし、ファイル作成中に複数のアプリケーションソフトを起動してメモリが足りなくなった場合などは、一旦 PS サーバを終了してファイルの作成を続けてください。本製品で印刷する場合は、使用しないアプリケーションを終了してから PS サーバを再起動してください。

この後は・・・

本製品のセットアップが終了した後は、実際に行いたい作業に合わせて本書をお読みください。

本製品を使って印刷を行うには、以下の章をお読みください。
本書 23 ページ「印刷するには」

PS サーバの機能について詳しく知りたい場合や、ネットワーク管理者の方は、以下の章をお読みください。
本書 59 ページ「PS サーバについて」

アプリケーションソフトによっては、本製品を使用していただく際に多少の注意が必要です。以下のページから、使用するアプリケーションに関する情報を探してください。
本書 78 ページ「特定ソフトウェアについて」





印刷するには

ここでは、本製品を使って印刷する方法について説明します。

PS サーバの選択と設定

印刷する前に、一度 PS サーバを選択して使用するプリンタの機種を設定する必要があります。以下の手順に従ってください。


ポイント

- PS サーバは印刷する前に必ず起動します。起動している PS サーバを一度選択すれば、印刷のたびに以下の手順をくり返す必要はありません。
- ネットワーク上の複数の PS サーバを切り替えて印刷する場合は、PS サーバの選択と設定を行ってください。

1 **プリンタの電源をオンにします。**

PS サーバを起動する前に必ずプリンタの電源をオンにし、プリンタの［印刷可］ランプ（［印刷可］ランプがない機種の場合は［電源］ランプ）が点灯していることを確かめます。

2 **PS サーバをインストールした Macintosh（プリントサーバ）では、Appleメニューの［コントロールパネル］から［省エネルギー設定］をクリックして、［スリープ設定］ダイアログでスリープしないように設定します。**


ポイント

PS サーバをインストールした Macintosh（プリントサーバ）がスリープすると、PS サーバが動作せずネットワーク上のクライアントからも印刷できません。

3 **アップルメニューから［セレクタ］を開いて、［AppleTalk］を［使用］に設定します。**

一度［使用］に設定していれば、［セレクタ］は設定を記憶しています。

- プリンタの接続形態にかかわらず、常に［使用］をクリックします。
- 設定を変更した場合は、警告ダイアログのメッセージを確認して［OK］ボタンをクリックします。



クリックします


ポイント

PS サーバを起動するには、［セレクタ］で必ず［AppleTalk］を［使用］に設定する必要があります。［不使用］に設定すると、PS サーバが起動できないので印刷できません。

4 **PS サーバを起動します。**

- **スタンドアローン環境で使用する場合やネットワーク環境のプリントサーバでは**
  PS サーバをインストールした起動ディスク内の［CPS ソフトリッパー Plus］フォルダにある［PS サーバ］アイコンをダブルクリックします。PS サーバが起動するとメインウィンドウが開き、印刷の状態やエラー状況を確認できます。
  ☞ 本書 75 ページ「メインウィンドウの表示 / 非表示」



ダブルクリックします


ポイント

- PS サーバをインストール後初めて起動するときは、以下のページを参照してライセンス番号を入力してください。
  ☞本書 19 ページ「ライセンス番号の入力」
- 本製品で頻繁に印刷する場合は、PS サーバのエイリアスを作成して、デスクトップ上などに置いておくと便利です。
- PS サーバのエイリアスを［システムフォルダ］内の［起動項目］フォルダの中に入れておくと、Macintosh の起動時に自動的に PS サーバを起動させることができます。

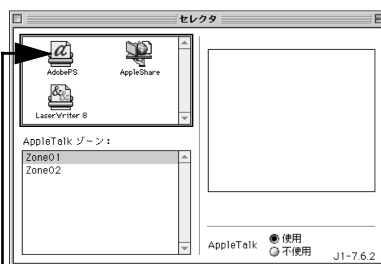
- **ネットワーク環境のクライアントコンピュータでは**
  PS サーバを起動することはありません。プリントサーバ側で起動した PS サーバをプリンタとして認識して、通常の方法で［セレクタ］から選択できるようになります。そのまま次の 5 へ進んでください。


ポイント

ネットワーク環境のクライアントでこれ以降のステップに進めない場合は、プリントサーバコンピュータの PS サーバが起動していないか、接続ケーブルが途切れています。PS サーバの起動とケーブルの接続を確かめてください。

5 **［AdobePS］を選択します。**

［セレクタ］左側のボックスに、インストールした［AdobePS］アイコンが現れます。そのアイコンをクリックします。

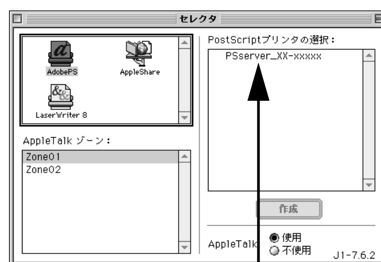


クリックします

6 **［PSserver_XX-xxxxx*］を選択します。**

AppleTalk ゾーンを設定している場合は、PS サーバを接続しているゾーンを最初に選択してください。

* プリンタの機種名が表示されます。



クリックします

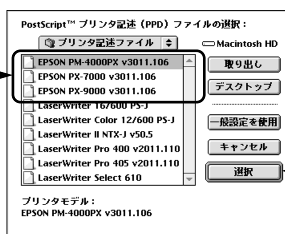
❼ ［作成］ボタンをクリックします。

プリンタとの接続状況を示すダイアログが表示されたあと、使用するプリンタ機種専用のPPD ファイルが自動的に選択されます。




ポイント

- サーバ名の左横に、PPD ファイルが選択されていることを示すマーク（ ）が現れます。
- スタンドアローン環境でPPD の自動選択を実行すると、PPDが選択されるまで 20 秒ほど時間がかかります。
- 万一お使いのプリンタ専用の PPD ファイルが自動的に選択されない場合は、以下のダイアログが現れます。お使いのプリンタの機種名と同じ PPD ファイルをクリックして、［選択］ボタンをクリックしてください。



❽ セレクタを閉じます。

- クローズボックス（ダイアログ左上の□ボックス）をクリックして［セレクタ］を閉じます。
- 用紙設定に関する警告ダイアログが現れたら、メッセージを確認して［OK］ボタンをクリックします。




ポイント

プリンタのブラック系インクの組み合わせを変更した場合は、PS サーバが起動している状態で、セレクタで［PSserver_XX-xxxxx*］を選択して［再設定］をクリックします。その後に表示されるダイアログで［自動選択］ボタンをクリックしてください。

* プリンタの機種名が表示されます。

印刷の手順

起動している PS サーバがセレクタで選択されていれば、印刷できます。ここでは、Macintosh アプリケーションソフトでの基本的な印刷手順について説明します。

用紙設定の手順

実際に印刷データを作成する前に、プリンタドライバ上で用紙サイズなどを設定します。



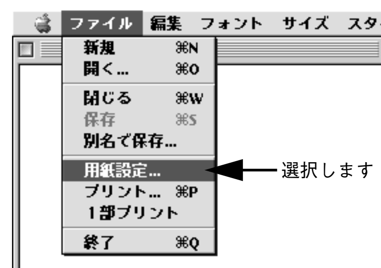
ポイント

- アプリケーションソフトによっては、独自の用紙設定ダイアログを表示することがあります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
- 用紙設定をする前に、使用する PS サーバを [セレクタ] で選択してください。
本書 24 ページ「PS サーバの選択と設定」

1 アプリケーションソフトを起動します。

2 [ファイル] メニューから [用紙設定] を選択します。

アプリケーションソフトによっては、コマンド名が異なる場合があります ([プリンタの設定] など)。



3 各項目を設定します。

- 表示されている設定条件でよければ、改めて設定する必要はありません。
- 各設定項目の説明は、以下のページをお読みください。
本書 29 ページ「[用紙設定] ダイアログ」





ポイント

設定項目の説明は、[ヘルプ] メニューから [バルーン表示] を選択してバルーンヘルプを表示させてご覧いただける場合があります。

4 [OK] ボタンをクリックして終了します。

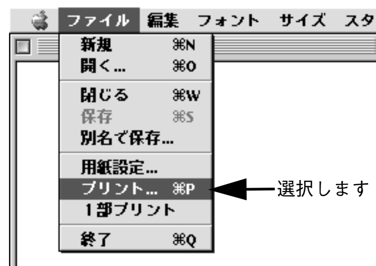
この後、印刷データを作成します。次へ進んでください。

印刷設定の手順

印刷する前に、印刷部数などを設定します。印刷関係の項目は以下のダイアログボックスで設定します。

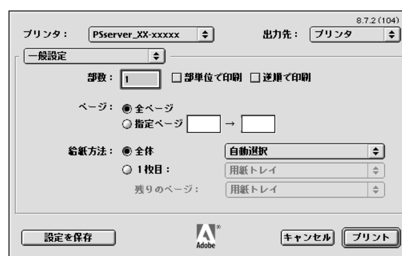
1 ［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

アプリケーションソフトによっては、コマンド名が異なる場合があります（[印刷] など)。



2 各項目を設定します。

- 表示されている設定条件でよければ、改めて設定する必要はありません。
- 各設定項目の説明は、以下のページをお読みください。
  本書 34 ページ「[プリント] ダイアログ」




ポイント

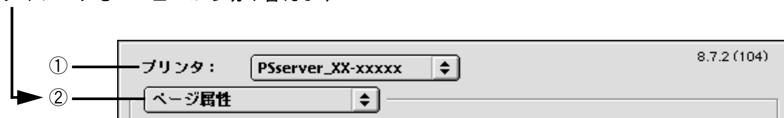
- CMYK/RGB カラーシミュレーション機能を使用したり､フチなし印刷を行うなどプリンタ固有の機能を利用するには、[プリンタ固有機能］ダイアログで設定してください。
  43 ページ「[プリンタ固有機能］ダイアログ」
- アプリケーションソフトによっては、独自の印刷ダイアログを表示する場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
- 設定項目の説明は、[ヘルプ］メニューから［バルーン表示］を選択してバルーンヘルプを表示させてご覧いただける場合があります。

3 ［プリント］ボタンをクリックして、印刷を実行します。

プリンタドライバの設定項目について

［用紙設定］ダイアログ

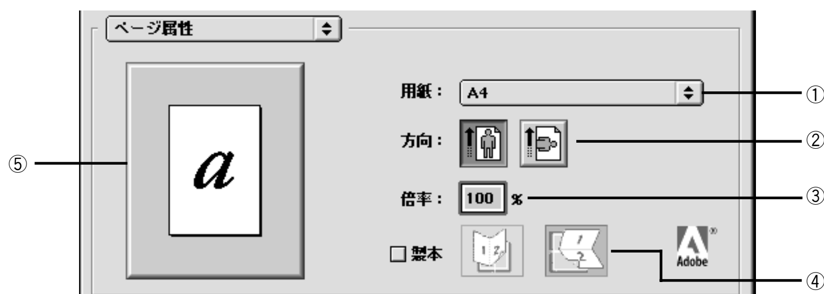
［用紙設定］ダイアログでは、用紙に関する基本的な項目を設定します。印刷データを作成する前に設定してください。



① プリンタ
印刷可能な PS プリンタが複数台ある場合は、このポップアップメニューから使用するプリンタをクリックして選択します。

② 用紙設定メニュー
ポップアップメニューから設定画面を選択すると、以下の機能が設定できます。

［ページ属性］ダイアログ



① 用紙
ポップアップメニューから印刷する用紙サイズを選択します。選択できる用紙サイズは、プリンタの機種によって異なります。使用可能な用紙サイズと印刷可能領域については、お使いのプリンタの取扱説明書をお読みください。



- カスタム用紙サイズを作成して選択することができます。
  本書 33 ページ「［カスタムページ設定］ダイアログ」
- フチなし印刷を行う場合は、カスタム用紙サイズを選択してください。詳しくは、以下のページをお読みください。
  本書 55 ページ「フチなし印刷を行うには」

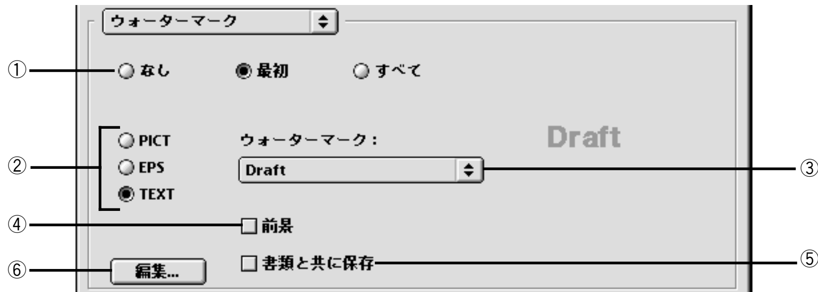
② 方向
印刷データを用紙に対してどの方向で印刷するかアイコンをクリックして選択します。

③ 倍率
25% ～ 400% の範囲で拡大または縮小して印刷できます。数値を直接入力して設定します。

④ 製本
製本するように印刷でき、綴じ方向を選択できます。ただし、スタンドアローン環境では本機能は使用できません。

⑤ プレビューウィンドウ
設定状況をイラストで表示します。画面上をクリックすると用紙サイズと余白の情報を表示します。

［ウォーターマーク］ダイアログ



① なし / 最初 / すべて

ウォーターマークを印刷するページを選択します。

設定	機能
なし	ウォーターマークを印刷しません。
最初	ウォーターマークを最初のページにのみ印刷します。
すべて	ウォーターマークをすべてのページに印刷します。

② PICT/EPS/TEXT

ウォーターマークのファイル形式を選択します。

設定	機能
PICT	PICT 形式で保存したファイルをウォーターマークとして印刷します。
EPS	EPS形式で保存したファイルをウォーターマークとして印刷します。
TEXT	登録した文字（TEXT/ テキスト）をウォーターマークとして印刷します。文字の登録方法については、以下のページをお読みください。 本書31 ページ「⑥ 編集」

③ ウォーターマーク

ウォーターマークファイルを選択します。なお、上記②で選択したファイル形式によって、選択できるファイルは異なります。

> ポイント
>
> ウォーターマークファイルを保存するフォルダは、［システムフォルダ］の［初期設定］フォルダ内にある［ウォーターマーク］フォルダです。
> - サンプルのウォーターマークファイルが用意されています。任意の画像や文字などを［ウォーターマーク］フォルダに PICT または EPS 形式のファイルとして保存すると、ウォーターマークとしてご利用いただけます。
> - ［ウォーターマーク］フォルダのエイリアスを作成して、アクセスしやすい任意の場所に配置することもできます。ただし、その場合のエイリアス名は必ず［ウォーターマーク］としてください。

④ 前景

ウォーターマークを書類の前景に印刷します。背景として印刷する場合は、［前景］のチェックマークを外します。

> ポイント
>
> 一部のアプリケーションソフト（例 SimpleText）は、背景を白く印刷します。その場合、背景にウォーターマークを配置すると、ウォーターマークは印刷されません。ウォーターマークは前景に配置して印刷してください。

⑤ 書類と共に保存

印刷するかわりにファイルとして保存することができます。その際、ウォーターマークを一緒に保存することができます。ファイルの保存については、以下のページをお読みください。

☞ 本書 49 ページ「ファイルへの出力」



アプリケーションソフトによっては、ウォーターマークを書類と共に保存できない場合があります。

⑥ 編集

②で［TEXT］を選択した場合、文字（TEXT/ テキスト）をウォーターマークとして登録できます。［編集］ボタンをクリックすると、以下のダイアログが表示されます。

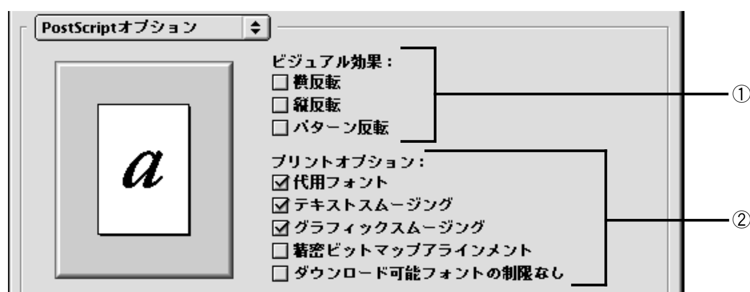
ウォーターマーク指定　8.7.1 (103)
OK
キャンセル
新規保存...
ウォーターマーク ファイル：Draft
ウォーターマーク フォント/サイズ/スタイル：Helvetica
ウォーターマーク テキスト：Draft
色
マウスを文書に移動します。マウスでウォーターマークの先頭をクリックして押したままにし、希望の方向にドラッグしてマウスを放します。

表示	機能
ウォーターマークファイル	登録済みのテキストウォーターマークファイルを選択します。
ウォーターマーク フォント / サイズ / スタイル	テキストウォーターマークに使用するフォント、サイズ、スタイルを、メニューをスクロールして選択します。
ウォーターマーク テキスト	ウォーターマークのテキストです。新規に登録する場合は、ここにテキストを入力します（最大半角255 文字）。
色	ウォーターマークの色を選択します。
新規保存	［ウォーターマーク テキスト］に入力したテキストをウォーターマークファイルとして新規に保存します。［新規保存］ボタンをクリックするとダイアログが表示されますので、［新規ウォーターマーク名］を入力して［OK］ボタンをクリックします。
ウォーターマークの配置	テキストウォーターマークを印刷するページ位置（テキストの左下角）と角度を指定できます。 • マウスをクリックすると位置が決まります。 • ウォーターマークをドラッグすると、テキストの角度が変わります。



ウォーターマークファイルを保存するフォルダは、［システムフォルダ］の［初期設定］フォルダ内にある［ウォーターマーク］フォルダです。誤ってウォーターマークを消しても対処できるように、［ウォーターマーク］フォルダをバックアップすることをお勧めします。

［PostScript オプション］ダイアログ



① ビジュアル効果

印刷データにビジュアル効果を加えて印刷します。

設定	機能
横反転	印刷データを鏡に映したイメージ（水平方向に反転させたイメージ）で印刷します。
縦反転	印刷データを 180 度回転させて印刷します。
パターン反転	白黒を反転させたイメージで印刷します。

② プリントオプション

印刷時のフォント、画像に対する機能を設定することができます。

設定	機能
代用フォント	New York、Geneva、Monaco のフォントをそれぞれ Times、Helvetica、Courier のフォントに置き換えて高品質に印刷します。
テキストスムージング	印刷データ中のビットマップフォントの輪郭を滑らかにして印刷します。
グラフィックスムージング	印刷データ中の画像（ビットマップデータ）に補正をかけて高品位に印刷します。
精密ビットマップアラインメント	グラフィックイメージを印刷したときに起きるゆがみを補正するために、印刷データを少し縮小して印刷します。
ダウンロード可能フォントの制限なし	印刷データにプリンタからダウンロードするためのスクリーンフォントを多数使用する場合にチェックします。ただし、エプソンプリンタではこの機能を設定しない（チェックしない）でください。印刷に不具合が生じることがあります。

［カスタムページ設定］ダイアログ

［カスタムページ名］に名前を付けて、カスタム用紙サイズを作成できます。

- ［単位］を選択してから、［用紙サイズ］と［余白］の各項目に数値を入力し、［追加］ボタンをクリックして登録します。
- 登録したカスタム用紙サイズを削除するには、用紙サイズ名をメニューから選択して［削除］ボタンをクリックします。
- お使いのプリンタの機種で設定できる数値の許容範囲は、［デバイスの許容範囲は以下のとおりです］のメニューを切り替えて確認できます。



- 作成したカスタム用紙サイズは、［ページ属性］ダイアログの［用紙］から選択できます。
- プリンタに付属のユーティリティで作成した用紙情報をカスタム用紙として登録できます。

フチなし印刷に関するご注意

本製品でフチなし印刷を行うには、使用する用紙サイズの縦 / 横それぞれ 0.6cm（上下左右各辺 0.3cm）大きな用紙サイズを［カスタムページ設定］ダイアログで作成して、［ページ属性］ダイアログの［用紙］で選択してください。

☞ 本書 29 ページ「［ページ属性］ダイアログ」

＜例＞ A4（21.0 × 29.7cm）サイズの用紙にフチなし印刷を行う場合（単位 cm）

カスタムページ名	用紙サイズ*		余白（左右上下）*
A4 フチなし	幅：21.6cm Offset：0cm	高さ：30.3cm Offset：0cm	0cm

* ［追加］ボタンをクリックすると、入力した数値は設定できる近似値に自動的に変わる場合があります。



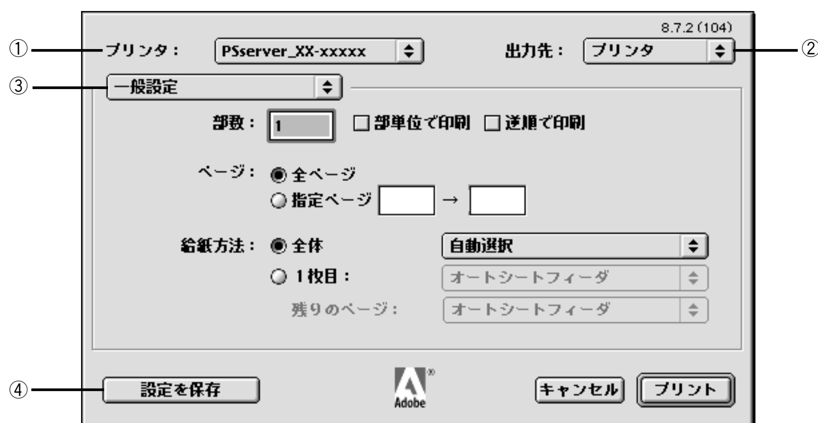
- ［カスタムページ名］には、フチなし印刷用サイズであることがわかる名前を付けることをお勧めします。
- フチなし印刷用のカスタム用紙サイズを作成する場合、［Offset］（幅 / 高さ）と［余白］（上下左右）を必ず 0 cm（0 インチ）に設定してください。
- フチなし印刷を行う印刷データは、使用するカスタム用紙サイズいっぱいにアプリケーションソフトで作成してください。

フチなし印刷に使用するカスタム用紙サイズを作成して選択しないと、フチなし印刷は行えません。フチなし印刷で使用できる用紙種類とブラック系インクの組み合わせや、フチなし印刷の手順については、以下のページをお読みください。

☞ 本書 55 ページ「フチなし印刷を行うには」

［プリント］ダイアログ

［プリント］ダイアログでは、印刷に関わる各種の設定を行います。ダイアログ左上の［印刷設定］メニューから設定画面を選択すると、プリンタの各種機能が設定できます。



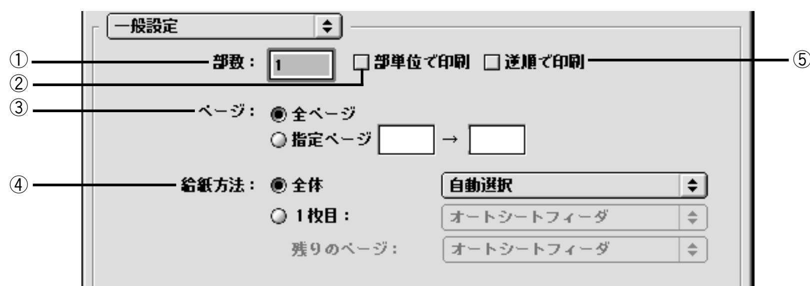
① プリンタ
印刷可能な PS プリンタが複数ある場合は、このポップアップメニューから使用するプリンタをクリックして選択することができます。

② 出力先
印刷データの出力先を設定します。［プリンタ］を選択すると印刷データをプリンタに送り、プリンタは印刷を開始します。［ファイル］を選択すると、印刷データを PostScript ファイルまたは EPS ファイルとして保存することができます。
本書 41 ページ「[PostScript 設定］ダイアログ」

③ 印刷設定メニュー
印刷に関する各種機能の設定が実行できます。ポップアップメニューから選択してください。各設定項目については、次ページ以降をお読みください。

④ 設定を保存
［プリント］ダイアログで設定を変更して［設定を保存］ボタンをクリックすると、設定が保存されます。

［一般設定］ダイアログ



① 部数

印刷する部数を最大 999 部まで設定できます。直接数値を入力して設定します。PS サーバの［初期設定］で［ラスタースプールモード］を有効にすると、高速に印刷することができます。

本書 61 ページ「初期設定」

② 部単位で印刷

①の部数で指定した部単位でまとめて印刷する場合にチェックします。ただし、スタンドアローン環境では本機能は使用できません。

③ ページ

印刷するページの範囲を設定します。

④ 給紙方法

お使いのプリンタの機種によって、選択肢が異なります。

- 印刷する用紙がセットされた給紙装置を選択します。
- 印刷に使用するロール紙のサイズ、長尺モード（長尺の単票紙を使用するモード）、または単票紙を選択します。

通常は［全体］を選択して、すべてのページで同じ給紙装置または用紙（ロール紙サイズ、長尺モード、単票紙）を使用します。［1 枚目］を選択すると最初の 1 ページと残りのページで別々に給紙装置を選択できます。書類の表紙だけ別の用紙を使用する（レターヘッドなど）場合にご利用ください。ただし、給紙口が 1 つしかないプリンタの機種場合は、用紙（ロール紙サイズ、長尺モード、または単票紙）を交換しながら印刷してください。

⑤ 逆順で印刷

最後のページから逆順で印刷します。ただし、スタンドアローン環境では本機能は使用できません。

［追加オプション］ダイアログ



① 高速プリンタまたは Acrobat Distiller を使用する場合に選択

PS サーバ用にインストールされていない 2 バイトフォントは、ビットマップフォントとして印刷します。

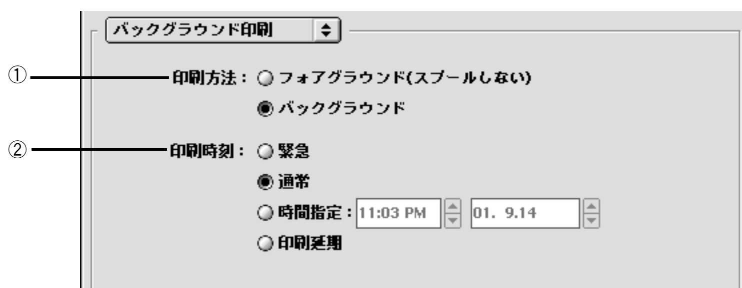
② EPS ファイルまたはポータブル PostScript ファイルを作成する場合に選択

PS サーバ用にインストールされていない 2 バイトフォントは、フォントデータのサブセットとしてプリンタへ送られます。



アプリケーションによっては、①の設定で印刷できない場合があります。そのような場合は、②の設定で印刷してください。

［バックグラウンド印刷］ダイアログ



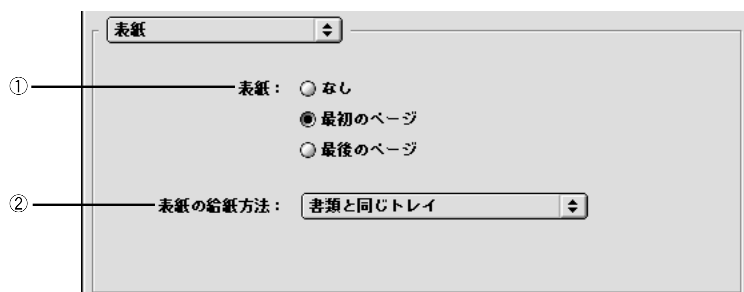
① 印刷方法

バックグラウンドを選択すると印刷中も Macintosh をほかの作業に使用することができます。初期設定では［バックグラウンド］が選択されています。スタンドアローン環境では、必ず［バックグラウンド］を選択してください。

② 印刷時間

通常の印刷では、［通常］を選択します。［緊急］を選択すると、複数の印刷データがある場合に、優先して印刷します。［時間指定］を選択すると、印刷する時間と日付を指定して印刷できます。［印刷延期］を選択すると、印刷データをプリントキューに残したまま印刷しません。

［表紙］ダイアログ



① 表紙
印刷データの名称や印刷日時などの情報を表示したページを、印刷の［最初のページ］または［最後のページ］に印刷できます。

② 表紙の給紙方法
表紙を印刷するときは、印刷データとは別の給紙装置を［表紙の給紙方法］で選択することもできます。ただし、給紙口が 1 つしかないプリンタの場合は、設定を変更することができません。

［カラー設定］ダイアログ



① カラー

カラー / グレースケールの印刷方法を設定します。

機能	設定
白黒*	モノクロ（白黒）で印刷します。グレースケール（階調）は再現しません。
カラー / グレースケール	カラーまたはグレースケール印刷するときに選択します。
ColorSync カラーマッチング	本製品では使用しません。
PostScript カラーマッチング	本製品では使用しません。

* アプリケーションソフトによっては、［白黒］を選択してもカラーで印刷される場合があります。その場合は、［プリンタ固有機能］ダイアログで［インク］を［黒］に設定してください。

本書 43 ページ「［プリンタ固有機能］ダイアログ」

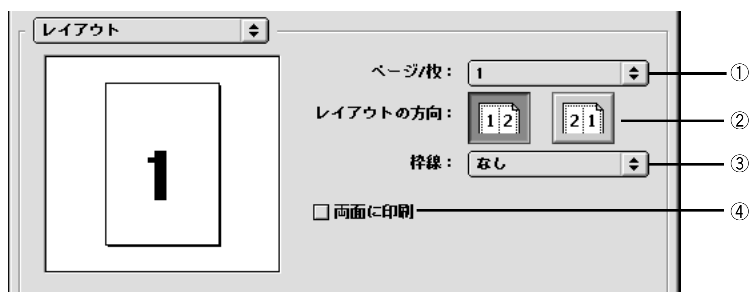

ポイント

- アプリケーションソフトの CMYK または RGB カラーモードで作成した画像データを印刷する場合は、本製品の CMYK または RGB シミュレーションをご利用いただけます。
- アプリケーションソフトの Lab カラーを使用してディスプレイとのカラーマッチングを行う場合は、プリンタに標準添付のプリンタドライバ（QuickDraw プリンタドライバ）を使用して ColorSync モードで印刷することをお勧めします。

② プリンタプロファイル

①で［ColorSync カラーマッチング］または［PostScript カラーマッチング］のどちらかを選択した場合に選択可能となりますが、通常は［白黒］または［カラー / グレースケール］で印刷しますので、本製品ではこの項目は使用しません。

［レイアウト］ダイアログ



① ページ / 枚

- 分割印刷や割付印刷を行わない場合は、［1］を選択します。
- 大きな用紙サイズを複数のページに分けて分割印刷するには、分割ページ数をメニューから選択します。スタンドアローン環境では本機能は使用できません。ただし、印刷データを一旦ファイルとして保存した場合は、スタンドアローン環境でも本機能をご利用いただけます。

分割印刷をする場合



- 連続した印刷データを1枚の用紙に割り付けて印刷するには､割付ページ数をメニューから選択します。割付印刷を行う場合は、②〜⑤の項目を設定できます。

② レイアウトの方向

割り付け印刷を行う場合、ページを並べる順番をアイコンをクリックして選択できます。

設定	機能
1 2	ページを左から右の順に並べます。
2 1	ページを右から左の順に並べます。

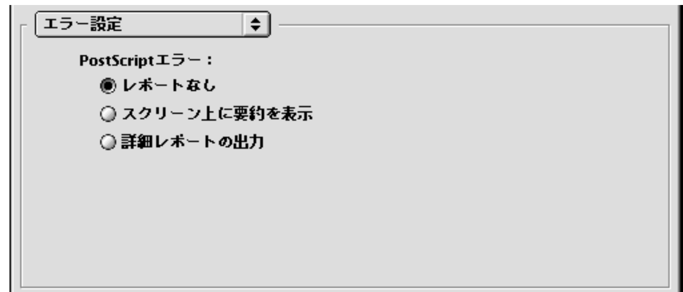
③ 枠線

割り付けた印刷データの周りに枠線を描くかどうかを選択できます。ポップアップメニューから枠線の種類も選択できます。

④ 両面に印刷

本製品が対応するプリンタの機種によっては手動両面印刷ができる場合もありますが、本製品は両面印刷に対応しておりませんので、この機能は使用できません。設定しても無効です。

［エラー設定］ダイアログ

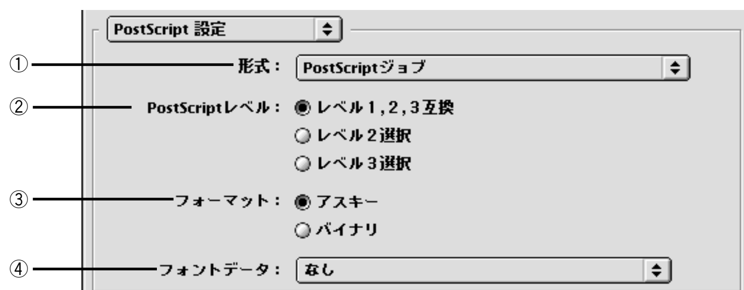


PostScript エラーが発生した場合に報告するかどうか選択します。

設定	機能
レポートなし	PostScript エラーが発生しても報告しません。
スクリーン上に要約を表示	PostScript エラーが発生した場合、コンピュータのモニタスクリーンにエラーの要約を表示します。
詳細レポートの出力	PostScript エラーが発生した場合、エラーの詳細をプリンタで印刷します。

［PostScript 設定］ダイアログ

［出力先］を［ファイル］に設定した場合、印刷データをファイルとして保存できます。［PostScript 設定］ダイアログでは、ファイルを保存する際の条件を設定できます。



① 形式

ファイルの保存形式を選択します。

設定	機能
PostScript ジョブ	PS（PostScript）ファイルとして保存します。
EPS（ビットマッププレビュー）	EPS ファイルとして保存します。プレビューイメージとしてビットマップ（72dpi）のモノクロイメージを提供します。
EPS（PICT プレビュー）	EPS ファイルとして保存します。プレビューイメージとして Macintosh の画面に表示するための QuickDrawPICT フォーマットのイメージを提供します。
EPS（プレビューなし）	EPS ファイルとして保存します。Macintosh の画面上に表示するためのプレビューイメージを提供しません。

② PostScript レベル

設定	機能
レベル 1, 2, 3 互換	どのレベルのPostScriptプリンタで印刷するかわからない場合に選択します。どの PostScript レベルとも互換性を保ちますが、その分ファイルサイズが大きくなり、印刷処理に時間がかかる場合があります。
レベル 2 選択	PostScript レベル 2 のプリンタで印刷する場合に選択します。レベル 1 のPS プリンタでは正常に印刷できない場合があります。
レベル 3 選択	PostScript レベル 3 のプリンタで印刷する場合に選択します。レベル 1、2 の PS プリンタでは正常に印刷できない場合があります。

③ フォーマット

保存するファイルのデータ形式を選択できます。

設定	機能
アスキー	フォーマットで選択した形式のデータをアスキーコードで保存します。EPS ファイルは必ずアスキーフォーマットを選択してください。
バイナリ	フォーマットで選択した形式のデータをバイナリ（2 進数）で保存します。

④ フォントデータ

作成する PS ファイルにダウンロード可能なフォントの情報を含めることができます。作成した PS ファイルをほかの PostScript プリンタから印刷する場合などに、フォント情報を含めないと印刷データで使用した以外のフォントで印刷される場合があります。

設定	機能
なし	フォント情報を含めません。
すべてを含める	印刷データに使用されているすべてのフォント情報を含みます。
標準 15 書体以外を含める	印刷データに使用されているフォントの中で標準 15 書体以外のフォント情報のみを含みます。
PPD にない書体を含める	PPD ファイルに記載されている欧文フォント以外で印刷データに使用されている欧文フォントの情報のみを含みます。和文 2 書体はビットマップとして保存されます。


ポイント

現在保存できるフォント情報は、欧文フォントの場合だけです。和文フォントの情報は保存できません。

［プリンタ固有機能］ダイアログ

［プリンタ固有機能］ダイアログでは、プリンタ固有の機能を設定できます。プリンタの機種によって、設定できる機能や設定の選択肢が異なります。なお、このダイアログではバルーンヘルプはご利用いただけません。

PM-4000PX のプリンタ固有機能

プリンタ固有機能
EPSON
用紙種類: 普通紙
解像度: 720x720dpi
インク
カラー
黒
双方向印刷
オートカット
フチなし印刷
グレースケール制御: テキストのみ
RGBシミュレーション: Apple RGB
CMYKシミュレーション: DIC

以下の表でアスタリスク（＊印）の付く設定は工場出荷時の初期設定です。

設定	機能	
用紙種類	使用する用紙の種類を選択します。 • 選択した［用紙種類］によって［解像度］に制限があり、利用できない［解像度］が選択されているとエラーメッセージを表示します。 • 以下のブラック系インクの組み合わせ（左端スロット＋左から 2 番目のスロット）で印刷してください。	
	普通紙	• 選択可能な解像度 360x360dpi、720x720dpi • 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック＋グレー
	スーパーファイン専用紙 2 MC マット紙 MC 画材用紙	• 選択可能な解像度 720x720dpi、1440x720dpi • 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック＋グレー
	PM/MC 写真用紙（半光沢）	• 選択可能な解像度 1440x720dpi、2880x1440dpi • 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック＋グレー
	MC 光沢紙	• 選択可能な解像度 720x720dpi、1440x720dpi、2880x1440dpi • 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック＋グレー
	PX プルーフ用紙（微光沢）	• 選択可能な解像度 720x720dpi、1440x720dpi、2880x1440dpi • 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック＋グレー
解像度	プリンタの解像度（横×縦）を選択します。選択した［解像度］によって［用紙種類］に制限があり、利用できない［用紙種類］が選択されているとエラーメッセージを表示します。選択できる解像度は、上記の［用紙種類］でご確認ください。	
	360x360dpi	解像度を 360x360dpi に設定します。
	720x720dpi*	解像度を 720x720dpi に設定します。
	1440x720dpi	解像度を 1440x720dpi に設定します。
	2880x1440dpi	解像度を 2880x1440dpi に設定します。
インク	カラー印刷するかモノクロ印刷するかを設定します。	
	カラー*	カラーで印刷します。
	黒	モノクロ（白黒）で印刷します。 ※グレーインクは使用されません。

設定	機能	
双方向印刷	プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するかどうかを設定します。ただし、双方向印刷を行うと印刷品質が多少低下する場合がありますので、より高品質な印刷を行いたい場合はチェックを外してください。	
	オン（チェックあり）*	双方向印刷を行います。
	オフ（チェックなし）	双方向印刷を行いません。
オートカット	ロール紙をページごとに自動的にカットするかどうかを設定します。	
	オン（チェックあり）	オプションのロール紙オートカッターを使って、1ページ印刷するごとに自動的にカットします。
	オフ（チェックなし）*	印刷したページを自動的にカットしません。市販のカッターなどを使って切り離してください。
フチなし印刷	単票紙の場合は四辺フチなし、ロール紙の場合は左右フチなし印刷を行うかどうかを設定します。なお、カスタム用紙サイズを選択しないと設定できません。 本書33 ページ「［カスタムページ設定］ダイアログ」 本書55 ページ「フチなし印刷を行うには」	
	オン（チェックあり）	フチなし印刷を行います。
	オフ（チェックなし）*	フチなし印刷を行いません。
グレースケール制御	ブラックのテキストや画像をブラックのインクを優先的に使用して印刷する場合に選択します。［画像のみ］を選択すると、［テキストのみ］を選択する場合に比べて印刷に時間がかかります。	
	テキストのみ*	テキストやイラストに、グレースケール制御を適用します。画像は、CMYK4 色のブラックで出力されます。
	画像のみ	画像に、グレースケール制御を適用します。テキストやイラストは、CMYK4 色のブラックで出力されます。
	すべて	すべてに、グレースケール制御を適用します。
	オフ	ブラックはCMYK4色のブラックで出力されます。
RGB シミュレーション	RGB モニタの色を再現して印刷する場合に、シミュレーションする RGB 色を選択できます。 本書51 ページ「カラーシミュレーション機能について」	
	オフ	シミュレーションしません。
	Adobe RGB	Adobe 社が定義する RGB 色
	Apple RGB*	Apple 社が定義する RGB 色
	CIE RGB	CIE RGB 色
	ColorMatch RGB	ColorMatch RGB 色
	NTSC	NTSC 方式のカラーモニタ色
	PAL/SECAM	PAL/SECAM方式のカラーモニタ色
	SMPTE	SMPTE 色
	sRGB	sRGB 色
	Wide RGB	Wide RGB 色
	カスタム	PS サーバに登録したカスタムプロファイルで定義したRGB 色
CMYK シミュレーション	オフセット印刷機の CMYK インク色を再現して印刷する場合に、シミュレーションする CMYK インクの色を選択できます。 本書51 ページ「カラーシミュレーション機能について」	
	オフ	シミュレーションしません。
	DIC*	大日本インキ化学工業株式会社のDIC 標準色
	SWOP	SWOP™ 出版印刷色
	TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色
	Euro	ヨーロッパの印刷色
	カスタム	PS サーバに登録したカスタムプロファイルで定義したCMYK 印刷色

PX-7000/9000 のプリンタ固有機能

以下の表でアスタリスク（＊印）の付く設定は工場出荷時の初期設定です。

設定	機能	
用紙種類	使用する用紙の種類を選択します。 • 選択した［用紙種類］によって［解像度］に制限があり、利用できない［解像度］が選択されているとエラーメッセージを表示します。なお、*1 で示す［用紙種類］と［解像度］の組み合わせについては、後述の［スーパーマイクロウィーブ］の説明をお読みください。 • 以下のブラック系インクの組み合わせ（左端スロット＋左から 2 番目のスロット）で印刷してください。	
	普通紙	• 選択可能な解像度 360x360dpi、720x360dpi • 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック＋グレー、 マットブラック＋グレー、 マットブラック＋マットブラック
	MC 厚手マット紙	• 選択可能な解像度 360x360dpi、360x720dpi、720x720dpi • 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック＋グレー、 マットブラック＋グレー、 マットブラック＋マットブラック
	MC 光沢紙	• 選択可能な解像度 360x720dpi、720x720dpi、1440x720dpi*1 • 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック＋グレー
	MC 写真用紙［光沢］ MC 写真用紙［半光沢］ MC フォトスタンダード紙［光沢］ MC フォトスタンダード紙［半光沢］	• 選択可能な解像度 360x720dpi、720x720dpi、1440x720dpi*1、2880x1440dpi • 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック＋グレー
	PX_MC 写真用紙［厚手 絹目］	• 選択可能な解像度 360x720dpi、720x720dpi、1440x720dpi*1、2880x1440dpi • 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック＋グレー
	MC 画材用紙 PX_MC コットン画材用紙	• 選択可能な解像度 720x720dpi、1440x720dpi*1 • 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック＋グレー、 マットブラック＋グレー

設定	機能	
用紙種類 （続き）	光沢フィルム	• 選択可能な解像度 720x720dpi • 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック＋グレー
	MC バックライトフィルム	• 選択可能な解像度 720x720dpi、1440x720dpi*1 • 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック＋グレー
	MC マット合成紙２ MCマット合成紙2［のり付き］	• 選択可能な解像度 360x360dpi*1、360x720dpi、720x720dpi • 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック＋グレー、 マットブラック＋グレー、 マットブラック＋マットブラック
	MC_PM クロス［防炎］	• 選択可能な解像度 720x360dpi、720x720dpi • 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック＋グレー、 マットブラック＋グレー、 マットブラック＋マットブラック
	MC マット塩ビ［のり付き］	• 選択可能な解像度 360x360dpi*1、360x720dpi、720x720dpi • 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック＋グレー、 マットブラック＋グレー、 マットブラック＋マットブラック
	PX_MX プレミアムマット紙	• 選択可能な解像度 720x720dpi、1440x720dpi*1 • 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック＋グレー、 マットブラック＋グレー
	PX_MC 写真用紙［厚手 光沢］ PX_MC 写真用紙［厚手 微光沢］	• 選択可能な解像度 360x720dpi、720x720dpi、1440x720dpi*1、2880x1440dpi • 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック＋グレー
	マットボード紙	• 選択可能な解像度 720x360dpi、720x720dpi • 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック＋グレー、 マットブラック＋グレー、 マットブラック＋マットブラック
	PX プルーフ用紙［微光沢］	• 選択可能な解像度 360x720dpi、720x720dpi、1440x720dpi*1、2880x1440dpi • 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック＋グレー
	予約 1 予約 2	• 選択可能な解像度 360x720dpi、720x720dpi、1440x720dpi*1、2880x1440dpi • 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック＋グレー、 マットブラック＋グレー、 マットブラック＋マットブラック

設定	機能	
解像度	プリンタの解像度（横×縦）を選択します。選択した［解像度］によって［用紙種類］に制限があり、利用できない［用紙種類］が選択されているとエラーメッセージを表示します。選択できる解像度は、［用紙種類］でご確認ください。	
	360x360dpi*	解像度を 360x360dpi に設定します。
	360x720dpi	解像度を 360x720dpi に設定します。
	720x360dpi	解像度を 720x360dpi に設定します。
	720x720dpi	解像度を 720x720dpi に設定します。
	1440x720dpi	解像度を 1440x720dpi に設定します。
	2880x1440dpi	解像度を 2880x1440dpi に設定します。
インク	カラー印刷するかモノクロ印刷するかを設定します。	
	カラー*	カラーで印刷します。
	黒	モノクロ（白黒）で印刷します。 ※グレーインクは使用されません。
スーパーマイクロウィーブ	• 行ごとのムラを最小限に抑えたい場合に機能をオンに設定します。ただし、印刷時間が長くなります。通常はオフに設定して印刷してください。オフのままで印刷ムラが目立つ場合に限り、オンに設定すると印刷ムラが発生しない場合があります。 • 前述の［用紙種類］に*1 で示す［用紙種類］と［解像度］の組み合わせは、［スーパーマイクロウィーブ］のオン / オフによって、印刷結果が変化します。	
	オン（チェックあり）	スーパーマイクロウィーブ印刷を行います。
	オフ（チェックなし）*	スーパーマイクロウィーブ印刷を行いません。
双方向印刷	プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するかどうかを設定します。ただし、双方向印刷を行うと印刷品質が多少低下する場合がありますので、より高品質な印刷を行いたい場合はチェックを外してください。	
	オン（チェックあり）*	双方向印刷を行います。
	オフ（チェックなし）	双方向印刷を行いません。
自動用紙切断	ロール紙をページごとに自動的にカットするかどうかを設定します。	
	オン（チェックあり）	1 ページ印刷するごとに自動的にカットします。
	オフ（チェックなし）*	印刷したページを自動的にカットしません。オプションのカッターユニットや市販のカッターなどを使って切り離してください。
自動回転	縦長の印刷データが、ロール紙の紙幅に納まる場合に 90 度回転させてロール紙に横長にレイアウトして出力します。ロール紙を無駄なく使いたいときにチェックしてください。	
	オン（チェックあり）	自動回転します。
	オフ（チェックなし）*	自動回転しません。
切取り線描画	ページの右端と下端に切り取り線（実線）を印刷します。ただし、［自動用紙切断］がオンの場合は、下端の切り取り線は印刷されません。	
	オン（チェックあり）	切り取り線を印刷します。
	オフ（チェックなし）*	切り取り線を印刷しません。
フチなし印刷	単票紙の場合は四辺フチなし、ロール紙の場合は左右フチなし印刷を行うかどうかを設定します。なお、カスタム用紙サイズを選択しないと設定できません。 本書 33 ページ「［カスタムページ設定］ダイアログ」 本書 55 ページ「フチなし印刷を行うには」	
	オン（チェックあり）	フチなし印刷を行います。
	オフ（チェックなし）*	フチなし印刷を行いません。

設定	機能	
用紙オプション	プリンタにセットされているロール紙の幅を選択します。[自動回転]を正しく動作させるためには、必ずここでロール紙の幅を設定します。	
	ロール紙[44 インチ]、ロール紙[36 インチ]、ロール紙[24 インチ]、ロール紙[600mm]、ロール紙[22 インチ]、ロール紙[20 インチ]、ロール紙[500mm]、ロール紙[16 インチ]、ロール紙[400mm]、ロール紙[14 インチ]、ロール紙[12 インチ]、ロール紙[300mm]、ロール紙[10 インチ]、ロール紙[8 インチ]、単票紙 * PX-7000 で選択できるロール紙幅は、24 インチまでです。	
グレースケール制御	ブラックのテキストや画像をブラックのインクを優先的に使用して印刷する場合に選択します。[画像のみ]を選択すると、[テキストのみ]を選択する場合に比べて印刷に時間がかかります。	
	テキストのみ*	テキストやイラストに、グレースケール制御を適用します。画像は、CMYK4 色のブラックで出力されます。
	画像のみ	画像に、グレースケール制御を適用します。テキストやイラストは、CMYK4 色のブラックで出力されます。
	すべて	すべてに、グレースケール制御を適用します。
	オフ	ブラックはCMYK4色のブラックで出力されます。
RGB シミュレーション	RGB モニタの色を再現して印刷する場合に、シミュレーションする RGB 色を選択できます。 本書51 ページ「カラーシミュレーション機能について」	
	オフ	シミュレーションしません。
	Adobe RGB	Adobe 社が定義する RGB 色
	Apple RGB*	Apple 社が定義する RGB 色
	CIE RGB	CIE RGB 色
	ColorMatch RGB	ColorMatch RGB 色
	NTSC	NTSC 方式のカラーモニタ色
	PAL/SECAM	PAL/SECAM 方式のカラーモニタ色
	SMPTE	SMPTE 色
	sRGB	sRGB 色
	Wide RGB	Wide RGB 色
	カスタム	PS サーバに登録したカスタムプロファイルで定義したRGB 色
CMYK シミュレーション	オフセット印刷機の CMYK インク色を再現して印刷する場合に、シミュレーションする CMYK インクの色を選択できます。 本書51 ページ「カラーシミュレーション機能について」	
	オフ	シミュレーションしません。
	DIC*	大日本インキ化学工業株式会社のDIC 標準色
	SWOP	SWOP™ 出版印刷色
	TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色
	Euro	ヨーロッパの印刷色
	カスタム	PS サーバに登録したカスタムプロファイルで定義したCMYK 印刷色



プリンタのブラック系インクの組み合わせを変更した場合は、PS サーバが起動している状態で、セレクタで[PSserver_XX-xxxxx*]を選択して[再設定]をクリックします。その後に表示されるダイアログで[自動選択]ボタンをクリックしてください。
* プリンタの機種名が表示されます。

その他の印刷方法

通常の印刷方法とは異なるさまざまな印刷方法について説明します。


ポイント

PostScript ファイル、PDF（Ver. 1.3）ファイルは、アプリケーションを起動することなく直接印刷できます。直接印刷については、以下のページをお読みください。
本書 60 ページ「ファイルの直接印刷」

ファイルへの出力

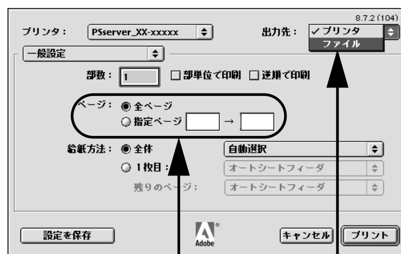
AdobePS ドライバを使用してファイルを印刷する際に、PS（PostScript）ファイルまたは EPS（Encapsulated PostScript）ファイルとして保存することができます。


ポイント

- PSファイルやEPSファイルは、その元ファイルを作成したアプリケーションソフトがなくても印刷できます。以下のページをお読みください。
  本書 50 ページ「ドラッグ＆ドロップによる印刷」
  本書 60 ページ「ファイルの直接印刷」
- Adobe® Acrobat® Distiller というアプリケーションソフトを使うと、PSファイルから PDF ファイルを生成することができます。
- EPS ファイルは、ほかのアプリケーションソフトで作成したファイルに組み込むことができます。

1. ［ファイル］メニューから［プリント］（または［印刷］）を選択します。

2. 保存する範囲を設定して、［出力先］メニューから［ファイル］を選択します。



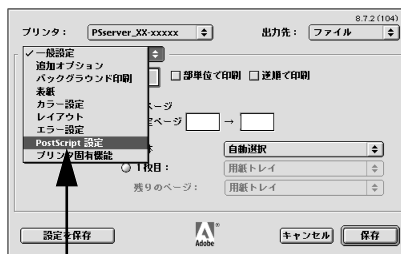
②選択します

①保存するページ範囲を設定して


ポイント

EPS ファイルとして保存する場合は、1 ページを越えて保存することはできません。1 ページ分のページ範囲を指定してください。

3. ［印刷設定］メニューのポップアップメニューから［PostScript 設定］をクリックします。

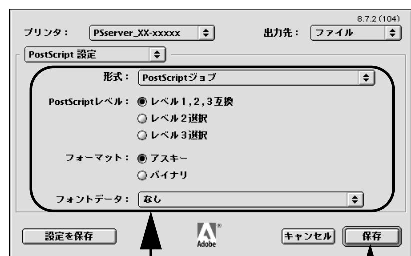


クリックします

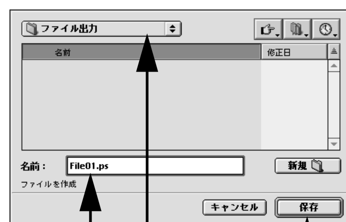
4 **各項目を設定し、［保存］ボタンをクリックします。**

各項目の詳細は、以下のページを参照してください。

本書 41 ページ「[PostScript 設定]ダイアログ」



5 **保存先のフォルダを選択し、ファイル名を入力して、［保存］ボタンをクリックします。**



ドラッグ＆ドロップによる印刷

PS サーバをインストールしてある Macintosh であれば､ファイルへ出力した印刷ファイルを［PS サーバ］アイコンに重ね合わせて（ドラッグ＆ドロップ）印刷できます。また、アプリケーションソフトによってはドラッグ＆ドロップで印刷できる PostScript/EPS ファイルを作成できる場合があります。


ポイント

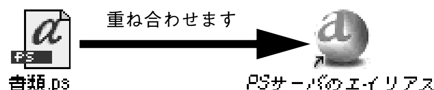
- PS サーバのエイリアスを作成してデスクトップに置くと､簡単にドラッグ＆ドロップして印刷できるので便利です。
- 通常の印刷より速く処理を終えて印刷を始められます。

1 **印刷したいファイルをクリックして反転表示させせます。**

2 **PS サーバ（またはそのエイリアス）にファイルをドラッグ＆ドロップします。**

選択したファイルをクリックしたまま、マウスを操作して PS サーバのアイコン（またはエイリアス）の上に重ね合わせ、アイコンが反転表示したらマウスボタンを離します。PS サーバはドロップしたファイルを読み込んで印刷を始めます。

＜例；PS サーバのエイリアスにドラッグ＆ドロップする場合＞




ポイント

- ［プリント］ダイアログは表示されません。読み込んだファイルは PS サーバの［印刷設定］で設定した印刷条件に従って印刷されます。なお、ファイル出力時や PostScript/EPS ファイル作成時に［用紙設定］や［プリント］ダイアログの設定を行っている場合は、それらの設定が PS サーバの［印刷設定］より優先されます。
  本書 62 ページ「印刷設定」
- ファイルをドラッグ＆ドロップしても PS サーバが反転表示しない場合は､デスクトップの更新を実行してください。

カラーシミュレーション機能について

CMYK/RGB カラーシミュレーションとは

CMYK シミュレーション

ほとんどの PostScript 対応アプリケーションソフト（PageMaker、QuarkXPress、Illustrator、Photoshop ＜ CMYK カラーモード＞など）は、印刷機で使用する CMYK カラーを指定できます。これらのアプリケーションソフトから本製品で印刷する際に、CMYK シミュレーション機能を使用することにより、最終的に使用するオフセット印刷機の色（CMYK カラー）を再現（シミュレーション）することができます。本製品でシミュレーションできる CMYK カラーは、次の通りです。

設定	CMYK シミュレーション
オフ	CMYK シミュレーション機能を使用しません。
DIC	大日本インキ化学工業株式会社の DIC 標準色
TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色
SWOP	SWOP™ 出版印刷色
Euro	ヨーロッパ（Eurostandard）の印刷色
カスタム	PS サーバの［カラーマネージャ設定］ダイアログで登録したカスタム CMYK プロファイルで定義している印刷色 本書 65 ページ「カラーマネージャ設定」

RGB シミュレーション

一部の PostScript 対応アプリケーションソフト（Photoshop ＜ RGB カラーモード＞）は、モニタで使用する RGB カラーを指定できます。これらのアプリケーションソフトから本製品で印刷する際に、RGB シミュレーション機能を使用することにより、使用するモニタの色（RGB カラー）を再現（シミュレーション）することができます。本製品でシミュレーションできる RGB カラーは、次の通りです。

設定	RGB シミュレーション
オフ	シミュレーションしません。
Adobe RGB	Adobe 社が定義する RGB 色
Apple RGB	Apple 社が定義する RGB 色
CIE RGB	CIE RGB 色
ColorMatch RGB	ColorMatch RGB 色
NTSC	NTSC 方式のカラーモニタ色
PAL/SECAM	PAL/SECAM 方式のカラーモニタ色
SMPTE	SMPTE 色
sRGB	sRGB 色
Wide RGB	Wide RGB 色
カスタム	PS サーバの［カラーマネージャ設定］ダイアログで登録したカスタム RGB プロファイルで定義した RGB 色 本書 65 ページ「カラーマネージャ設定」



本製品の CMYK/RGB シミュレーション機能をご利用いただく場合は、以下の点に留意してください。

- この機能を使用しても、必ずしも最終印刷物や RGBモニタと完全な色合わせが行えるわけではありません。出力機器（印刷機や RGB モニタ）には特性の個体差があり、特定出力機器の色を完全にシミュレーションできないためです。
- 印刷物の色は、照明によって見え方が変化します。この機能は、相関色温度 5,000°K の照明下で印刷物を観測することを想定しています。
- アプリケーションソフト上でカラーマネージメント機能を設定する場合は、この機能は使用しないでください。
  本書 81 ページ「ソフトウェア上でカラーマネージメント機能を設定する場合の注意」
- この機能を使用するためには ColorSync（Ver. 2.5 以上）がシステムにインストールされている必要があります。

設定と印刷の手順

CMYK/RGB シミュレーションを行うには、以下の手順に従ってください。


ポイント

印刷を行うアプリケーションソフトや印刷条件により、手順が異なる場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書をお読みください。また、必要に応じて手順中に表示されるそのほかの項目の設定を行ってください。

1. **［セレクタ］で PS サーバを選択します。**

本書 24 ページ「PS サーバの選択と設定」

2. **印刷するファイルを作成します。**

- CMYK シミュレーションを行う場合は、色を CMYK カラーで指定して、ファイルを作成します。
- RGB シミュレーションを行う場合は、色を RGB カラーで指定して、ファイルを作成します。

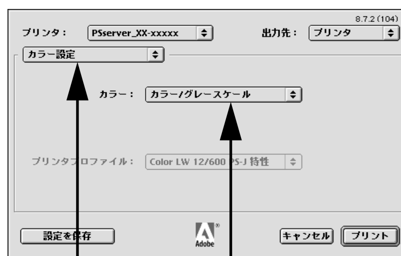

ポイント

Adobe 社の Photoshop などのアプリケーションソフトは、CMYK や RGB のカラープロファイルを選択することができます。シミュレーションするカラー専用のプロファイルを選択してから、ファイルを作成してください。詳細は、アプリケーションソフトの取扱説明書をお読みください。

3. **［プリント］ダイアログを開きます。**

本書 28 ページ「印刷設定の手順」

4. **［プリント］ダイアログの［印刷設定］メニューから［カラー設定］を選択し、［カラー］で［カラー／グレースケール］を選択します。**

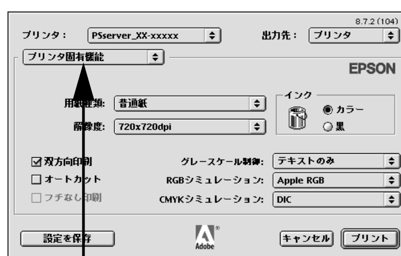


①選択して　②選択します


ポイント

［ColorSync カラーマッチング］または［PostScript カラーマッチング］が選択されていると、CMYK シミュレーション機能は使用できません。必ず［カラー / グレースケール］を選択してください（［白黒］ではカラーシミュレーションされません）。

5. **［プリント］ダイアログの［印刷設定］メニューから［プリンタ固有機能］を選択します。**



選択します

プリンタの機種によって画面は異なります

6 ［インク］で［カラー］を選択します。

［黒］を選択すると、CMYK シミュレーションは行われません。

7 ［CMYK シミュレーション］で、シミュレーションの対象となる印刷機色のプロファイルを選択します。

- CMYK シミュレーションする場合は、以下のプロファイルから選択できます。

設定	CMYK シミュレーション
オフ	CMYK シミュレーション機能を使用しません。
DIC（初期設定）	大日本インキ化学工業株式会社のDIC 標準色をシミュレーションするプロファイルです。
SWOP	SWOP™ 出版印刷物をシミュレーションするプロファイルです。
TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色をシミュレーションするプロファイルです。
Euro	ヨーロッパ（Eurostandard）の印刷物をシミュレーションするプロファイルです。
カスタム	PS サーバの［カラーマネージャ設定］ダイアログで登録したカスタム CMYK プロファイルで定義している印刷色をシミュレーションします。 本書 65 ページ「カラーマネージャ設定」

- RGB シミュレーションする場合は、以下のプロファイルから選択できます。

設定	RGB シミュレーション
オフ	シミュレーションしません。
Adobe RGB	Adobe 社が定義する RGB 色
Apple RGB（初期設定）	Apple 社が定義する RGB 色
CIE RGB	CIE RGB 色
ColorMatch RGB	ColorMatch RGB 色
NTSC	NTSC 方式のカラーモニタ色
PAL/SECAM	PAL/SECAM 方式のカラーモニタ色
SMPTE	SMPTE 色
sRGB	sRGB 色
Wide RGB	Wide RGB 色
カスタム	PS サーバの［カラーマネージャ設定］ダイアログで登録したカスタム RGB プロファイルで定義した RGB 色をシミュレーションします。 本書 65 ページ「カラーマネージャ設定」


ポイント

- CMYK/RGB どちらのシミュレーションも行わない場合は（プリンタ本来の色で印刷する場合は）、［オフ］を選択してください。
- アプリケーションソフト上でカラーマネージメント機能を設定する場合は、必ず［オフ］を選択してください。両方の機能を同時に使用すると、2 重にカラー補正されて正しい色で印刷できません。
  本書 81 ページ「ソフトウェア上でカラーマネージメント機能を設定する場合の注意」
- カスタムプロファイルを PS サーバに登録する方法については、以下のページをお読みください。
  本書 65 ページ「カラーマネージャ設定」

8 ［プリント］をクリックして印刷を実行します。

フチなし印刷を行うには

通常の印刷では、プリンタの構造上どうしても用紙の四辺に余白ができてしまい、用紙いっぱいに印刷することができません。本機のフチなし印刷機能を使用すると、用紙の四辺または左右にフチ（余白）のない印刷が可能になります。操作の手順は以下のページをお読みください。

本書 57 ページ「フチなし印刷の手順」

フチなし印刷が可能な用紙とサイズ

本製品でフチなし印刷が可能な用紙とサイズは、お使いのプリンタの機種によって異なります。使用する用紙とサイズに合わせて、［用紙］（カスタム用紙サイズ*）と［用紙種類］を設定してください。

* カスタム用紙サイズは、［用紙設定］ダイアログの［カスタムページ設定］ダイアログで作成します。



- 以下のエプソン純正専用用紙をお使いいただくことをお勧めします。下記以外の組み合わせでは、プリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れるおそれがあります。
- 市販の用紙をお使いいただく場合、対応する［用紙種類］の設定については、用紙の取扱説明書をお読みください（不明な場合は、用紙メーカーにお問い合わせください）。用紙によっては、プリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れるおそれがあります。試し印刷することをお勧めします。

PM-4000PX：定形紙（四辺フチなし）の場合

用紙名 / サイズ	用紙種類	用紙
MC マット紙 A4（210 × 297mm）、A3（297 × 420mm）、A3 ノビ（329 × 483mm）	MC マット紙	カスタム用紙サイズ • 幅、高さとも：用紙サイズ＋ 0.6cm • Offset と余白：0cm
PM/MC 写真用紙＜半光沢＞ A4（210 × 297mm）、A3（297 × 420mm）、A3 ノビ（329 × 483mm）	MC 写真用紙	
PM 写真用紙＜半光沢＞ L 判（89 × 127mm）、2L 判（127 × 178mm）	MC 写真用紙	
PM マットハガキ ハガキ（100 × 148m）	MC マット紙	
官製ハガキ ハガキ（100 × 148m）	普通紙	
市販の定形紙 A4（210 × 297mm）、A3（297 × 420mm）、A3 ノビ（329 × 483mm）、ハガキ（100 × 148mm）、L 判（89 × 127mm）、2L 判（127 × 178mm）	対応する［用紙種類］を選択	

PM-4000PX：ロール紙（左右フチなし）の場合

用紙名 / サイズ	用紙種類	用紙
PM/MC 写真用紙ロールタイプ＜半光沢＞ L 判（89mm）、ハガキ（100m）、A4（210mm）、A3 ノビ（329mm）	MC 写真用紙	カスタム用紙サイズ • 幅：ロール紙幅＋0.6cm • 高さ：任意のサイズ • Offset と余白：0cm
PM 写真用紙ロールタイプ＜半光沢＞ 2L 判（127mm）	MC 写真用紙	
MC マット紙ロールタイプ L 判（89mm）、ハガキ（100m）	MC マット紙	
市販のロール紙 L判（89mm）、ハガキ（100m）、2L判（127mm）、A4（210mm）、A3 ノビ（329mm）	対応する［用紙種類］を選択	

PX-7000/9000：単票紙（左右フチなし）の場合

単票紙は A4 サイズのみ、左右のみフチなし印刷が可能です（上下はフチなし印刷できません）。

用紙名[*]/A4 サイズ	用紙種類	用紙
上質普通紙	普通紙	カスタム用紙サイズ • 幅、高さ： 21.6 × 30.3cm • Offset と余白： 0cm
両面上質普通紙＜再生紙＞	普通紙	
MC 光沢紙　A4	MC 光沢紙	
マットボード紙	マットボード紙	
市販の単票紙	対応する［用紙種類］を選択	

[*] MC 画材用紙は A4 サイズがないため、フチなし印刷はできません。

PX-7000/9000：ロール紙（左右フチなし）の場合

用紙名 [*1]/ サイズ [*2]	用紙種類	用紙
PX/MC 写真用紙ロール＜厚手 光沢＞ 24 インチ、36 インチ、44 インチ	PX_MC 写真用紙［厚手 光沢］	カスタム用紙サイズ • 幅：ロール紙幅＋0.24 インチ • 高さ：任意のサイズ • Offset と余白： 0cm
PX/MC 写真用紙ロール＜厚手 絹目＞ 10 インチ、24 インチ、36 インチ、44 インチ	PX_MC 写真用紙［厚手 絹目］	
PX/MC 写真用紙ロール＜厚手 微光沢＞ 24 インチ、36 インチ、44 インチ	PX_MC 写真用紙［厚手 微光沢］	
市販のロール紙 PX-7000： 8 インチ、210mm[*3]、10 インチ、12 インチ、14 インチ、16 インチ、20 インチ、24 インチ PX-9000： 8 インチ、210mm[*3]、10 インチ、12 インチ、14 インチ、16 インチ、20 インチ、24 インチ、36 インチ、44 インチ	対応する［用紙種類］を選択	

[*1] PX/MC 写真用紙ロール＜厚手 半光沢＞は、標準プリンタドライバでは使用できますが、本製品では使用できません。

[*2] PX-7000 で使用できるロール紙幅は、24 インチまでです。

[*3] 標準プリンタドライバではフチなし印刷できますが、本製品ではできません。



ポイント

- エプソン純正専用紙には 8 インチ、210mm、12 インチ、14 インチ、16 インチ幅の用紙はありません。
- ロール紙幅より狭い用紙サイズの画像データを作成した場合、右側はフチなしとなるように手動でカットしてください。

フチなし印刷の手順

フチなし印刷を行うには、以下の手順に従ってください。



- アプリケーションソフトによっては、連続のフチなし印刷ができないものがあります。
- フチなし印刷は、フォトブラックインク（左端スロット）とグレーインク（左から 2 番目のスロット）の組み合わせで印刷してください。それ以外のブラック系インクの組み合わせで、フチなし印刷は行えません。

1 お使いのプリンタの機種に応じて、フチなし印刷可能な種類とサイズの紙（定形紙、ロール紙、単票紙）を用意し、プリンタにセットします。

本書 55 ページ「フチなし印刷が可能な用紙とサイズ」

2 アプリケーションソフトで、1 で用意した紙サイズより 0.6cm 大きめに印刷データを作成します。

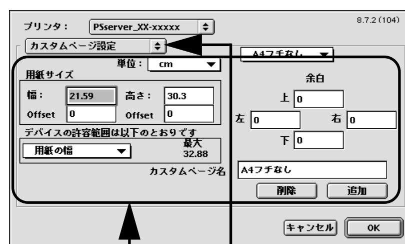
用紙サイズの設定方法やデータの作成方法については、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

- 定形紙、単票紙の場合は、用紙サイズの縦 / 横それぞれ 0.6cm 大きな印刷データを作成します。
- ロール紙の場合は、ロール紙幅より 0.6cm 横に広い印刷データを作成します。縦（高さ）は任意のサイズです。

3 ［用紙設定］ダイアログの［カスタムページ設定］ダイアログを開いて、フチなし印刷で使用するカスタム用紙サイズを作成します。

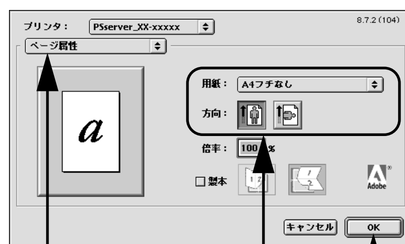
- カスタム用紙サイズは、2 で作成した印刷データの寸法に合わせて作成してます。
- ［Offset］および［余白］は［0］とします。

本書 33 ページ「［カスタムページ設定］ダイアログ」



4 ［ページ属性］ダイアログを開いて、3 で作成したカスタム用紙サイズを［用紙］から選択し、［方向］も選択してから［OK］ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

本書 55 ページ「フチなし印刷が可能な用紙とサイズ」

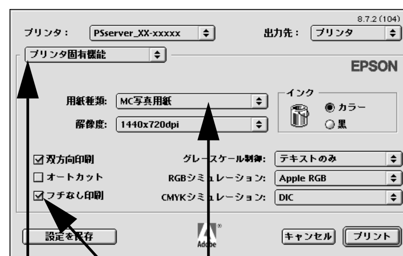




アプリケーションソフトで作成した印刷データの寸法に合わせて、［用紙］（サイズ）と［方向］を設定します。ロール紙を使用する場合で、ロール紙幅より狭い［用紙］（サイズ）を選択した場合、右側はフチなしとなるように手動でカットしてください。

5 **［印刷］ダイアログの［プリンタ固有機能］ダイアログを開き、［用紙種類］を選択して［フチなし］をチェックします。**

- **1** でセットした用紙の種類に合わせて、［用紙種類］を選択します。
- お使いのプリンタの機種に応じて、選択できる［用紙種類］は異なります。
  ☞ 本書 55 ページ「フチなし印刷が可能な用紙とサイズ」



①選択し　②選択して　③クリックします

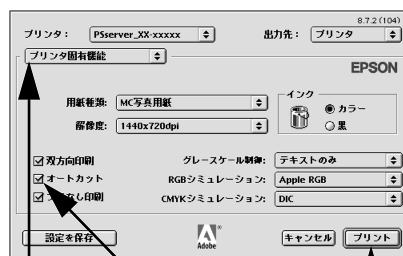
＜例＞上記画面は PM-4000PX の場合
プリンタの機種によって画面は異なります


ポイント

［印刷］ダイアログの［一般設定］ダイアログで選択する［給紙方法］は、通常［自動選択］のままでかまいません。［自動選択］以外に設定した場合は、設定とプリンタにセットされている用紙（給紙方法、ロール紙サイズ、単票紙）が合わないと、用紙エラーとなります。

6 **ロール紙をお使いの場合は［オートカット］または［自動用紙切断］をチェックして、［プリント］ボタンをクリックして印刷を実行します。**

- 定形紙、単票紙をお使いの場合は、［オートカット］または［自動用紙切断］を設定しないで、［プリント］ボタンをクリックして印刷を実行します。
- PM-4000PX にオプションのロール紙オートカッターを装着してロール紙を使用する場合は、［オートカット］をオンにすると用紙上下端もフチなし印刷を行います。
- PX-7000/9000 の場合は、［自動用紙切断］をオンにすると用紙上下端もフチなし印刷を行います。



①選択し　②クリックして　③クリックします

＜例＞上記画面は PM-4000PX の場合
プリンタの機種によって画面は異なります


ポイント

- ロール紙で四辺フチなし印刷を行う場合は、必ず［オートカット］/［自動用紙切断］をチェックします。
- ロール紙に左右フチなし印刷を行う場合は、［オートカット］/［自動用紙切断］は任意に設定します（各ページは自動でカットするか、手動でカットしてください）。
- 単票紙をお使いの場合は、［オートカット］/［自動用紙切断］は設定しません。
- PX-7000/9000 で［自動用紙切断］をオフにして［切り取り線描画］をオンにしている場合は、すべてのカット位置で自動カットしないで切り取り線を印刷します。
- PX-7000/9000 でロール紙を使ってフチなし印刷を行う場合は、AdobePS ドライバの設定（［フチなし］/［自動用紙切断］）と操作パネルのパネル設定モードの設定（［フチナシセッテイ］）の組み合わせによって、用紙カット動作が異なります。パネル設定モードの［フチナシセッテイ］については、プリンタ本体の取扱説明書をお読みください。



PS サーバについて

ここでは、本製品の機能を詳しく説明します。

ファイルの直接印刷

本製品は、PostScript ファイル、PDF（Ver. 1.3）ファイルにネイティブ対応していますので、これらの形式のファイルはアプリケーションを起動することなく直接印刷できます。

［ファイル］メニューから［開く］を選択します。印刷したい PostScript ファイル、EPS ファイル、または PDF（Ver. 1.3）ファイルを選択して、［開く］ボタンをクリックしてください。

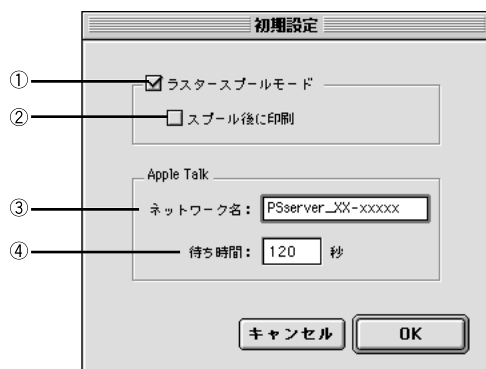


PDF ファイルを直接印刷する場合の、印刷設定は［印刷設定］ダイアログで設定できます。

本書 62 ページ「印刷設定」

初期設定

PS サーバが備える基本機能の初期状態を設定するには、PS サーバの［編集］メニューから［初期設定］を選択します。



① ラスタースプールモード

クリックしてチェックマークを付けると、ラスタースプール（高速コピー）モードが有効となります。部単位印刷を行う場合に、より高速に印刷することができます。

② スプール後に印刷

印刷データをハードディスクにスプールして印刷するタイミングを設定します。

- オフ（チェックマークなし）の場合は、1 部目の印刷データはハードディスクにスプールしながら印刷し、2 部目からはスプールしたラスターデータを直接プリンタへ送って印刷します。ただし、部数指定が 1 の場合は、スプールしません。
- オン（チェックマークあり）の場合は、最初に印刷データをすべてハードディスクにスプールします。そして、1 部目からスプールしたラスターデータをプリンタへ送って印刷します。


ポイント

［スプール後に印刷］をオフに設定した場合、1 部目の印刷データをスプールする途中でプリントヘッドが一時的に停止して印刷ムラが発生する可能性があります。印刷ムラが発生する場合は、［スプール後に印刷］をオンに設定して印刷してください。

③ ネットワーク名

PS サーバのネットワーク名を入力します。ここで指定した名称が、［セレクタ］に表示されます。


ポイント

ネットワーク名が重複する場合は、名前の後に「xxx-1」、「xxx-2」と数字が付きます。

④ 待ち時間

設定した時間（2 ～ 3600 秒）を経過しても何のデータも受信しないと、PS サーバは接続状態を一旦解除します。（工場出荷時の初期値＝ 120 秒）

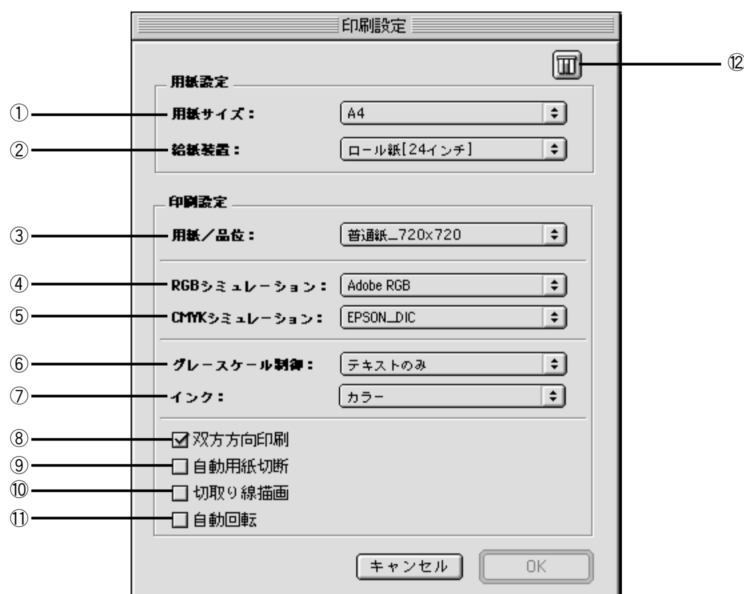
印刷設定

PS サーバが印刷を行うときの初期条件を設定するには、PS サーバの［編集］メニューから［印刷設定］を選択します。ここで設定した印刷条件は、アプリケーションソフトで作成した EPS ファイルや PDF ファイルを、PS サーバから直接印刷する場合（アプリケーションソフトから印刷しない場合）に有効となります。なお、ここで設定できる機能は、プリンタの機種によって異なります。
本書 60 ページ「ファイルの直接印刷」


ポイント

- アプリケーションソフトから印刷する場合は、印刷時のプリンタドライバの印刷設定が PS サーバの印刷設定より優先されます。
- アプリケーションソフトからプリンタドライバを使って PS または EPS ファイルに出力して保存した場合は、出力時点でのプリンタドライバでの印刷設定が PS サーバの印刷設定より優先されます。

＜例＞ PX-7000/9000 の場合



PM-4000PX の場合は、⑩［切取り線描画］および⑪［自動回転］はご利用いただけません。

① 用紙サイズ

印刷で使用する用紙のサイズを選択します。選択できる用紙サイズはプリンタの機種によって異なります。

② 給紙方法

用紙の給紙方法を選択します。選択できる給紙方法はプリンタの機種によって異なります。

③ 用紙 / 品位

印刷で使用する用紙の種類と解像度の組み合わせを選択します。選択できる用紙 / 品位はプリンタの機種によって異なります。

④ RGB シミュレーション

RGB モニタの色を再現して印刷する場合に、シミュレーションする RGB 色を選択できます。

設定	シミュレーションする RGB 色
オフ	シミュレーションしません。
Adobe RGB	Adobe 社が定義する RGB 色
Apple RGB	Apple 社が定義する RGB 色（工場出荷時の初期設定）
CIE RGB	CIE RGB 色
ColorMatch RGB	ColorMatch RGB 色
NTSC	NTSC 方式のカラーモニタ色
PAL/SECAM	PAL/SECAM 方式のカラーモニタ色
SMPTE	SMPTE 色
sRGB	sRGB 色
Wide RGB	Wide RGB 色
カスタム	PS サーバに登録したカスタムプロファイルで定義した RGB 色

⑤ CMYK シミュレーション

オフセット印刷機の CMYK インク色を再現して印刷する場合に、シミュレーションする CMYK インクの色を選択できます。

設定	シミュレーションする CMYK 色
オフ	シミュレーションしません。
EPSON_DIC	大日本インキ化学工業株式会社の DIC 標準色（工場出荷時の初期設定）
EPSON_SWOP	SWOP™ 出版印刷色
EPSON_TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色
EPSON_Euro	ヨーロッパの印刷色
カスタム	PS サーバに登録したカスタムプロファイルで定義した CMYK 印刷色

⑥ グレースケール制御

ブラックのテキストや画像をブラックのインクを優先的に使用して印刷する場合に選択します。［画像のみ］を選択すると、［テキストのみ］を選択する場合に比べて印刷に時間がかかります。

設定	説明
テキストのみ	テキストやイラストに、グレースケール制御を適用します。画像は、CMYK4 色のブラックで印刷されます。（工場出荷時の初期設定）
画像のみ	画像に、グレースケール制御を適用します。テキストやイラストは、CMYK4 色のブラックで印刷されます。
すべて	すべてに、グレースケール制御を適用します。
オフ	ブラックは CMYK4 色のブラックで出力されます。

⑦ インク

カラー印刷するかモノクロ印刷するかを設定します。

設定	説明
カラー	カラーで印刷します。（工場出荷時の初期設定）
黒	モノクロ（白黒）で印刷します。

⑧ 双方向印刷

プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するかどうかを設定します。ただし、双方向印刷を行うと印刷品質が多少低下する場合がありますので、より高品質な印刷を行いたい場合はチェックを外してください。

設定	説明
オン（チェックあり）	双方向印刷を行います。（工場出荷時の初期設定）
オフ（チェックなし）	双方向印刷を行いません。

⑨ 自動用紙切断

ロール紙をページごとに自動的にカットするかどうかを設定します。

設定	説明
オン（チェックあり）	1ページ印刷するごとに自動的にカットします*。 * プリンタの機種によっては、オプションのロール紙オートカッターが必要です。
オフ（チェックなし）	印刷したページを自動的にカットしません。オプションのカッターユニット*や市販のカッターなどを使って切り離してください。（工場出荷時の初期設定） * プリンタの機種によってはご利用いただけません。

⑩ 切取り線描画

ページの右端と下端に切り取り線（実線）を印刷します。この機能をご利用いただけないプリンタの場合は表示されません。

設定	説明
オン（チェックあり）	切り取り線を印刷します。
オフ（チェックなし）	切り取り線を印刷しません。（工場出荷時の初期設定）

⑪ 自動回転

縦長の印刷データが、ロール紙の紙幅に納まる場合に90度回転させてロール紙に横長にレイアウトして出力します。ロール紙を無駄なく使いたいときにチェックしてください。この機能をご利用いただけないプリンタの場合は表示されません。

設定	説明
オン（チェックあり）	自動回転します。
オフ（チェックなし）	自動回転しません。（工場出荷時の初期設定）

⑫ インク残量アイコン

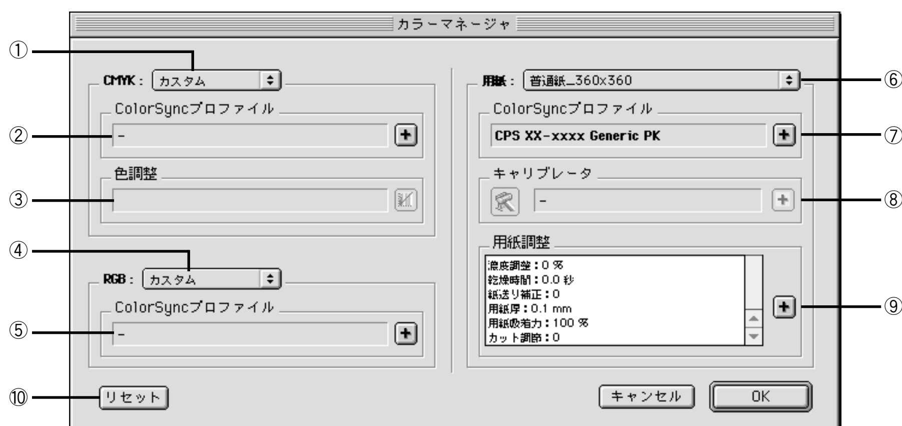
クリックすると、インク残量を示すダイアログが表示されます。



インク残量を確認したら、［OK］ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

カラーマネージャ設定

PS サーバのカラーマネージャ機能を設定するには、PS サーバの［編集］メニューから［カラーマネージャ設定］を選択します。



① CMYK

CMYK シミュレーションのプロファイル名をメニューから選択します。

② プロファイル名

①のメニューで選択しているプロファイル名に対応する実際の CMYK シミュレーションプロファイルを表示します。各標準プロファイルに対応する特殊なプロファイルを選択する場合や、①で［カスタム］を選択した場合は、ここで［＋］ボタンをクリックして任意のカスタムプロファイルを選択してください。



- ここで選択されているプロファイルが、プリンタドライバの［プリンタ固有機能］ダイアログで選択する CMYK シミュレーションプロファイルとして使用されます。
- 本製品に標準添付のプロファイルを使用する場合は、特に操作する必要はありません。
- カスタムプロファイルの作成方法については、お使いになるプロファイル作成ツールの取扱説明書をお読みください。

③ 色調整

①のメニューで選択している CMYK シミュレーションプロファイルに対して、さらに色の調整をする場合はトーンカーブアイコンをクリックして［トーンカーブ］ダイアログを開きます。標準およびカスタムどちらのプロファイルに対しても、微調整することができます。トーンカーブで調整を行うと、［調整済み］と表示されます。

本書 67 ページ「［トーンカーブ］ダイアログ」



トーンカーブの設定は、プロファイルの色定義そのものを変更します。色定義を元に戻す場合は、［トーンカーブ］ダイアログで［リセット］ボタンクリックしてから、［保存］ボタンをクリックしてください。

④ RGB

RGB シミュレーションのプロファイル名をメニューから選択します。

⑤ プロファイル名

④のメニューで選択しているプロファイル名に対応する実際のRGBシミュレーションプロファイルを表示します。各標準プロファイルに対応する特殊なプロファイルを選択する場合や、④で［カスタム］を選択した場合は、ここで［＋］ボタンをクリックして任意のカスタムプロファイルを選択してください。


ポイント

- ここで選択されているプロファイルが、プリンタドライバの［プリンタ固有機能］ダイアログで選択する RGB シミュレーションプロファイルとして使用されます。
- 本製品に標準添付のプロファイルを使用する場合は、特に操作する必要はありません。
- カスタムプロファイルの作成方法については、お使いになるプロファイル作成ツールの取扱説明書をお読みください。

⑥ 用紙

オプションの EPSON カラーキャリブレータを使ってプリンタキャリブレーションを行う場合に、キャリブレーションシートの印刷で使用する用紙種類と解像度の組み合わせを選択します。お使いのプリンタの機種によって選択できる設定は異なります。プリンタキャリブレーションと操作手順の概略については、以下のページをお読みください。

☞ 本書 69 ページ「プリンタキャリブレーション手順の概略」

⑦ プロファイル名

⑥のメニューで選択している用紙名に対応する実際の用紙プロファイルを表示します。キャリブレーションシートを印刷する場合に、エプソン純正専用紙以外の市販の用紙を使用する場合は、ここで［＋］ボタンをクリックして、その用紙専用のプロファイルを選択してください。


ポイント

- エプソン純正専用紙を使用してキャリブレーションシートを印刷する場合は、⑥のメニュー操作だけで⑦でファイルを選択する必要はありません（本製品に標準添付のプロファイルが自動的に選択されます）。
- エプソン純正専用紙以外の市販用紙を使ってキャリブレーションシートを印刷する場合のみ、用紙専用のプロファイルを選択してください。なお、市販用紙専用のプロファイルの有無については、用紙メーカーにお尋ねください。

⑧ キャリブレータ

オプションの EPSON カラーキャリブレータを使ってプリンタキャリブレーションを行う場合に、プリンタアイコンをクリックしてキャリブレーションシートを印刷します。また、［＋］ボタンをクリックすると、EPSON カラーキャリブレータで作成したキャリブレーションプロファイルを選択できます。プリンタキャリブレーションと操作手順の概略については、以下のページをお読みください。

☞ 本書 69 ページ「プリンタキャリブレーション手順の概略」

⑨ 用紙調整

各用紙に設定されている用紙の情報を表示します。［＋］ボタンをクリックすると［用紙調整］ダイアログが開きますので、必要に応じて用紙関連の設定を行ってください。

☞ 本書 71 ページ「［用紙調整］ダイアログ」

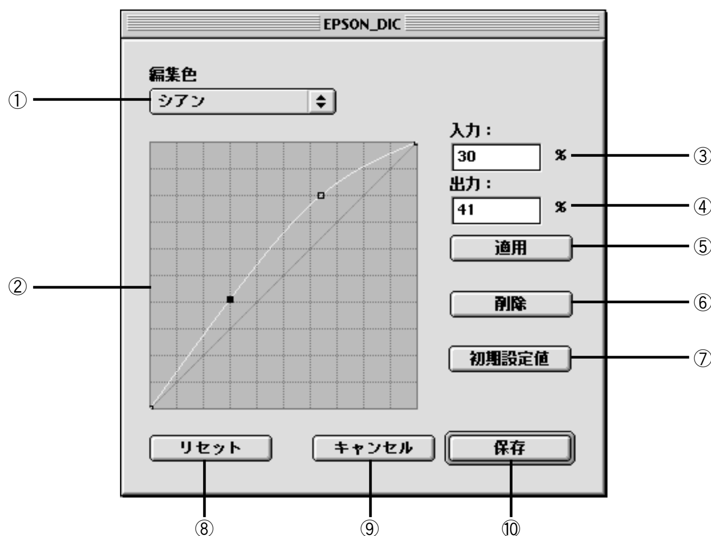
⑩ リセット

［カラーマネージャ設定］ダイアログで変更した設定を工場出荷時の設定に戻します。

［トーンカーブ］ダイアログ

［カラーマネージャ設定］ダイアログの［色調整］にあるトーンカーブアイコンをクリックすると、［トーンカーブ］ダイアログが開きます。選択している CMYK プロファイルで定義している色濃度に対して、さらに濃度調整を行えます。

本書 65 ページ「③ 色調整」



① 編集色
調整する色を［シアン］、［マゼンタ］、［イエロー］、［ブラック］の中から選択します。

② トーンカーブ
CMYK プロファイルが定義している色濃度（入力値）が実際にどの色濃度（出力値）で印刷されるかの相関関係を、最初は 45 度の直線で表示します（CMYK プロファイルで定義しているトーンカーブをそのまま再現しません）。任意の色濃度位置（入力値）をドラッグして、出力値を調整できます。また、［入力］と［出力］で指定した値をグラフィカルに表示することもできます。

③ 入力
調整対象となる色濃度（入力値）をパーセントで直接指定できます。

④ 出力
［入力］で指定した色濃度に対して、実際にどの色濃度で出力するかをパーセントで直接指定できます。

⑤ 適用
［入力］と［出力］で指定した値を、トーンカーブに反映させるときにクリックします。

⑥ 削除
トーンカーブでクリックして選択した入出力点を削除します。

⑦ 初期設定値
［編集色］で選択した色のトーンカーブを 45 度の直線に戻します（プロファイル本来の定義に戻します）。

⑧ リセット
すべての設定をリセットし、トーンカーブを 45 度の直線に戻します（プロファイル本来の定義に戻します）。

⑨ キャンセル

変更した設定値キャンセルするときにクリックします。

⑩ 保存

調整したトーンカーブを記憶して、ダイアログを閉じます。トーンカーブが調整された場合は、[カラーマネージャ設定]ダイアログの[色設定]に[調整済み]と表示します。

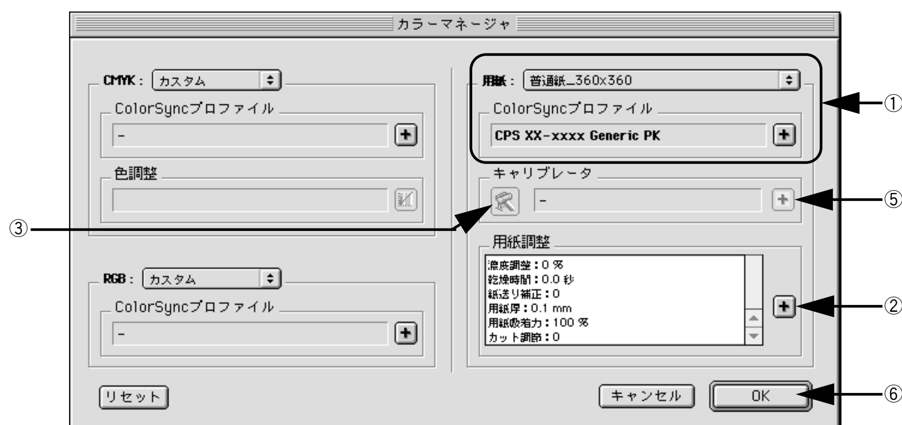

ポイント

トーンカーブの設定は、プロファイルの色定義そのものを変更します。色定義を元に戻す場合は、[トーンカーブ] ダイアログで [リセット] ボタンクリックしてから、[保存] ボタンをクリックしてください。

プリンタキャリブレーション手順の概略

オプションの EPSON カラーキャリブレータを使ってプリンタキャリブレーションを行うことができます。これにより、プリンタそのものの色補正を行い、印刷時にその本来の色を引き出すことができます。ここでは、操作手順の概略を説明します。

本書 66 ページ「⑥ 用紙」
本書 66 ページ「⑧ キャリブレータ」



④印刷したキャリブレーションシートの色を EPSON カラーキャリブレータで測定してキャリブレーションプロファイルを作成します。

1 PS サーバの［カラーマネージャ設定］ダイアログを開いて、使用する用紙種類と解像度の組み合わせを［用紙］メニューから選択します。

エプソン純正専用紙以外の市販の用紙を使用する場合は、［＋］ボタンをクリックしてその用紙専用のプロファイルを選択します（エプソン純正専用紙を使用する場合は、［用紙］メニューで設定名を選択すれば、プロファイルは自動的に選択されます）。

2 必要に応じて、［用紙調整］の設定を変更します。

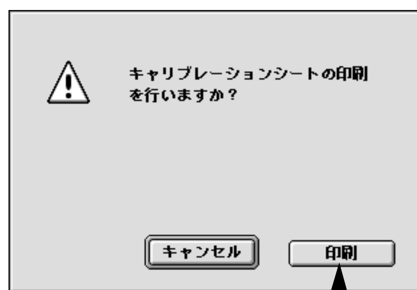
［用紙調整］の［＋］ボタンをクリックすると［用紙調整］ダイアログが開きますので、必要に応じて設定を変更します。

本書 71 ページ「［用紙調整］ダイアログ」

3 プリンタアイコン* をクリックしてキャリブレーションシートを印刷します。

以下の画面が表示されたら、［印刷］をクリックして印刷を開始します。

* プリンタアイコンは機種によって異なります。



クリックします

ここで、PS サーバの［カラーマネージャ設定］ダイアログをいったん閉じます。

4 **印刷したキャリブレーションシートの色を EPSON カラーキャリブレータで測定してキャリブレーションプロファイルを作成します。**

操作の詳細は、オプションの EPSON カラーキャリブレータの取扱説明書をお読みください。

5 **再度 PS サーバの［カラーマネージャ設定］ダイアログを開いて、［キャリブレータ］の［＋］ボタンをクリックして、3 で作成したプロファイルを読み込みます。**

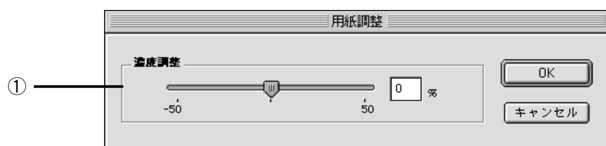
6 **［OK］ボタンをクリックして［カラーマネージャ設定］ダイアログを閉じます。**

［用紙調整］ダイアログ

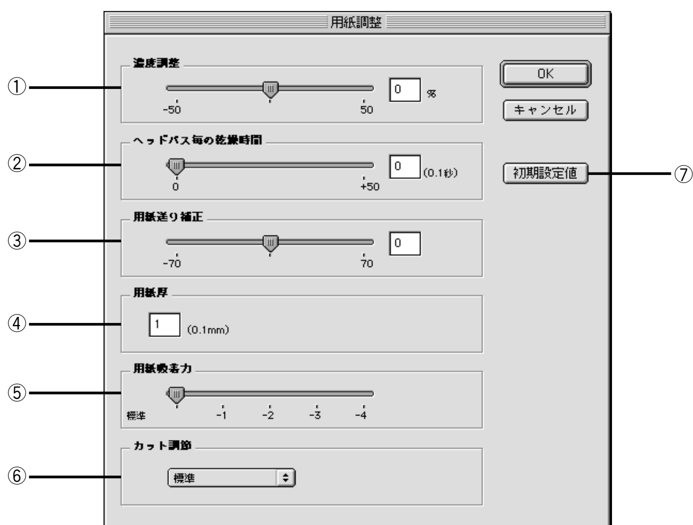
［カラーマネージャ設定］ダイアログの［用紙情報］にある［＋］ボタンをクリックすると、［用紙調整］ダイアログが開きます。ここで設定できる機能は、プリンタの機種によって異なります。

本書 66 ページ「⑨ 用紙調整」

PM-4000PX の場合



PX-7000/9000 の場合



① 濃度調整

インク濃度（濃淡）を標準値からの割合で調整できます。インク濃度は、スライドバーを左（より薄い -50%）または右（より濃い +50%）へ動かすか、ボックスに直接数値を入力して設定します（初期値：0%）。



強い色調が求められる POP 印刷用にインク濃度を上げたり、ランニングコストを抑えた試し印刷用にインク消費量を減らすために濃度を下げたりできます。

② ヘッドパス毎の乾燥時間

インクが乾燥するまでプリントヘッドの往復移動を停止する時間（乾燥時間）を設定できます。インク乾燥時間は、スライドバーを左端（標準 0 秒）から右（最長 +50）へ動かすか、ボックスに直接秒数（0.1 秒単位）を入力して設定します（初期値：0 秒）。



- インク濃度を上げたときなどインクが乾きにくいことがありますので、必要に応じて調整してください。
- 用紙によっては、乾燥しにくい場合があります。このような場合は乾燥時間を長めに設定してください。

③ 用紙送り補正

用紙送りの補正値を調整できます。補正値は、スライドバーを左（より少なく -70）または右（より多く +70）へ動かすか、ボックスに直接数値を入力して設定します（初期値：0）。



プリンタの個体差によって、エプソン純正専用紙を使っても用紙送りがずれる場合があります。また、エプソン純正専用紙以外の用紙に合わせて正確に用紙が送られるように調整する必要がある場合があります。これらの場合に、用紙送りを調整してください。

④ 用紙厚

用紙厚を設定できます。用紙厚は 0.1mm 単位で 0 から 1.5mm までの間で直接数値を入力します（初期値は選択されている［用紙種類］によって異なります）。



エプソン純正専用紙以外の用紙を使う場合、その用紙の厚さを正確に設定することができます。

⑤ 用紙吸着力

用紙をプラテン上で安定させるための吸着力を標準値からの割合で設定できます。用紙の吸着力は、スライドバーを左端（標準 100%）から、-1（50%）-2（30%）-3（10%）-4（最小 6%）へ動かして設定します（初期値：100%）。



用紙が薄いと、吸着力が強すぎてロール紙をセットしづらかったり、うまく紙送りされないことがあります。このような場合は吸着力を弱めに設定してください。

⑥ カット調整

用紙自動カット時のカッターの圧力を 3 段階に設定できます。カット調整は、メニューから［標準］、［薄紙］、［極薄紙］のいずれかを選択して設定します（初期値：標準）。



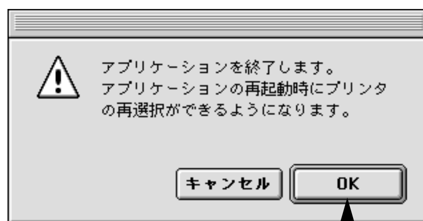
薄い用紙を強くカットすると、カット端で用紙が破れることがあります。このような場合は用紙厚に合わせて［薄紙］または［極薄紙］に設定してください。

⑦ 初期設定値

［用紙調整］ダイアログの設定値をすべて初期設定値に戻します。

プリンタの再選択

プリンタを接続するインターフェイスを変更した場合は、プリンタを再選択する必要があります。[編集] メニューから [プリンタの再選択] を選択してください。以下のダイアログが表示されますので、[OK] ボタンをクリックし PS サーバをいったん終了させます。



次回 PS サーバを起動すると、接続先を選択するダイアログが表示されます。使用するインターフェイス（ポート）を選択してから、同じプリンタを選択してください。





- USB ポートまたは FireWire ポートにプリンタを接続している場合、[USB] または [FireWire] を選択しているにもかかわらずリストに機種名が表示されない場合は、プリンタの電源がオフになっている可能性があります。プリンタの電源と接続を確認してください。
- AppleTalkゾーンを設定している場合は、プリンタが接続されているゾーンを選択してからプリンタ名を選択してください。
- Ethernet ネットワークにプリンタを接続している場合で、使用するプリンタの名前が表示されない場合は、[スキャン] ボタンをクリックしてください。
- プリンタの再選択時に別のプリンタを選択すると、元のプリンタにインストールした市販のプリンタフォントは使用できません。

メッセージのクリア

メインウィンドウのメッセージをクリアしたい場合は、［編集］メニューから［メッセージのクリア］を選択してください。

メインウィンドウに表示されるプリンタのエラーやワーニングメッセージは、エラーなどが解除されても PS サーバが終了するまでクリアされません。必要に応じて［メッセージのクリア］を実行してください。
本書 75 ページ「メインウィンドウの表示 / 非表示」

メインウィンドウの表示 / 非表示

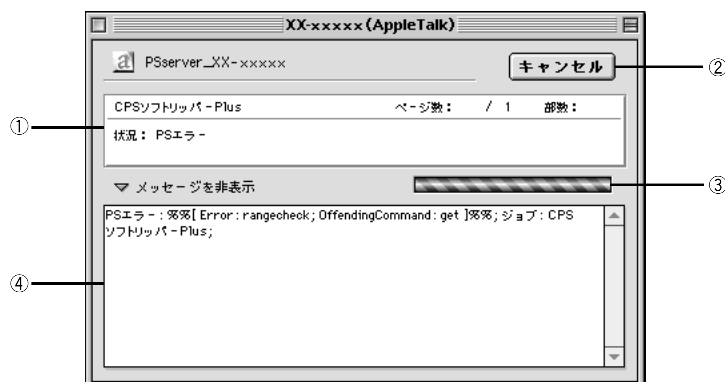
PS サーバが起動すると、印刷状況を表示するメインウィンドウが開きます。また、エラーが発生した場合などは、ウィンドウを広げてエラー状況を確認することができます。

［ウィンドウ］メニューの［ウィンドウを表示］を選択すると、印刷の進行を表すウィンドウが開きます（工場出荷時には、PS サーバ起動時に自動的に開くように初期設定されています）。ウィンドウを表示させる必要のないときは、［ウィンドウを非表示］を選択して閉じておくこともできます。

印刷中のメインウィンドウ



エラー状況の表示



① ステータス
現在進行中のジョブの名称と印刷状況を表示します。

② キャンセル
印刷中のジョブを削除（印刷をキャンセル）するときにクリックします。

③ プログレスバー
印刷の進行状況の度合いを表示します。

④ メッセージを表示
PS サーバやプリンタのエラーやワーニングメッセージを確認するには、この三角アイコンをクリックしてウィンドウを広げます。メッセージに表示されるプリンタのエラーやワーニングメッセージは、エラーなどが解除されても PS サーバが終了するまでクリアされません。メッセージの内容を消すには、［編集］メニューにある［メッセージをクリア］を選択して消すことができます。
本書 74 ページ「メッセージのクリア」





付録

特定ソフトウェアについて

本製品は、さまざまなアプリケーションソフトで使用できます。ここでは、いくつかの代表的なアプリケーションソフトを選んで、使用していただく上での注意点を簡単に説明します。

また、アプリケーションソフトで印刷する場合の各種トラブルの解決方法や、お客様からお問い合わせの多い項目の対処方法については、別冊の「Q&A 集」で説明しています。印刷できないなどのトラブルでインフォメーションセンターへお問い合わせいただく前に、Q&A 集もお読みください。

☞ 本書 83 ページ「電子マニュアル（PDF ファイル）について」

Acrobat 4.0/Acrobat Reader 4.0

Acrobat 4.0 や Acrobat Reader 4.0 から印刷を行うと、「-8993 エラー」が発生して印刷できない場合があります。その場合は、印刷実行時に［プリンタ］ダイアログの［バックグラウンド印刷］ダイアログを開き、［印刷方法］を［バックグラウンド］に設定してください。［フォアグラウンド（スプールしない）］が選択されていると印刷できません。

PageMaker 6.0J/6.5J

■［プリント-ドキュメント］ダイアログの［形式］について

本製品には、対応プリンタの専用の PPD ファイルが添付されています（セットアップ時に所定のフォルダにインストールされています）。印刷実行時［プリント］ダイアログの［形式］で、お使いになるプリンタの PPD ファイルを選択してください。

■［プリンタ特性］について

プリンタの機能を設定するには、［プリント］ダイアログの［プリンタ特性］ボタンをクリックしてください。設定できる項目の詳細は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 43 ページ「［プリンタ固有機能］ダイアログ」

■ ソフトウェア上でカラーマネージメント機能の設定を行う場合

PageMaker 6.5J 以降では、ソフトウェア上でカラーマネージメント機能の設定を行うことができます。この機能を使用する場合は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 81 ページ「ソフトウェア上でカラーマネージメント機能を設定する場合の注意」

QuarkXPress 3.11

■ PDF ファイル

QuarkXPress 3.11 で印刷するには、プリンタ専用の PDF ファイルが必要です。本製品に添付の PDF ファイルは、［PS ユーティリティ］フォルダ内の［Quark_PDF］フォルダに入っています。その PDF ファイルを、所定の［PDFs］フォルダに入れてください。

［用紙設定］ダイアログにプリンタの種類を選択する項目があります。ここで、お使いになるプリンタにあった PDF ファイルを選択してください。

■ バックグラウンド印刷について

［プリント］ダイアログの［バックグラウンド印刷］ダイアログを開いて、［印刷方法］を［バックグラウンド］に設定してください。［フォアグラウンド（スプールしない）］に設定すると、印刷できない場合があります。

■［プリンタフォントの有無］について

［プリンタフォントの有無］を使ってプリンタフォントを検索してください。［補助］メニューから［プリンタフォントの有無］を選択して［検索］ボタンをクリックすると、プリンタフォントの有無を検索できます。

■ ハーフトーン処理について

ハーフトーンの指定をすることはできません。アプリケーションソフト側で特定の線数と角度を指定しても、常に本製品の高精細ハーフトーンで印刷されます。

■ HELIOS 社製 ColorSync2 XTension を使用して、ColorSync2 カラーマッチング機能を使用する場合（QuarkXPress3.3）

QuarkXPress 3.3 では、HELIOS 社製 ColorSync2 XTension を使用することにより ColorSync2 カラーマッチング機能を使用することができるようになります。この機能を使用する場合は、以下のページを参照してください。

本書 81 ページ「ソフトウェア上でカラーマネージメント機能を設定する場合の注意」

QuarkXPress 4.0J 以降

■ バックグラウンド印刷について

［プリント］ダイアログの［バックグラウンド印刷］ダイアログを開いて、［印刷方法］を［バックグラウンド］に設定してください。［フォアグラウンド（スプールしない）］に設定すると、印刷できない場合があります。

■ プリンタフォントの検索について

プリンタフォントの検索機能を使用して、プリンタフォントを検索してください。［ファイル］メニューから［印刷］を選択し、印刷ダイアログの中にある［プリンタフォント］タブをクリックします。［検索開始］ボタンをクリックすると、プリンタフォントの有無を検索できます。

■ プリンタ記述ファイルについて

本製品には、対応プリンタの専用の PPD ファイルが添付されています（セットアップ時に所定のフォルダにインストールされています）。印刷実行時［印刷］ダイアログの［設定］タブをクリックすると、プリンタ記述ファイルを選択する項目があります。お使いになるプリンタの PPD ファイルを選択してください。

■ ハーフトーン処理について

ハーフトーンの指定をすることはできません。アプリケーションソフト側で特定の線数と角度を指定しても、常に本製品の高精細ハーフトーンで印刷されます。

■ ソフトウェア上でカラーマネージメント機能の設定を行う場合

QuarkXPress4.0J 以降では、ソフトウェア上でカラーマネージメント機能の設定を行うことができます。この機能を使用する場合は、以下のページを参照してください。

本書 81 ページ「ソフトウェア上でカラーマネージメント機能を設定する場合の注意」

Adobe Illustrator 7.0J 以降

Adobe Illustrator 7.0J 以降では、ソフトウェア上でカラーマネージメント機能の設定を行うことができます。この機能を使用する場合は、以下のページを参照してください。

本書 81 ページ「ソフトウェア上でカラーマネージメント機能を設定する場合の注意」

Adobe Photoshop

■ 画像の「モード」について

Photoshop で印刷する場合は、次の点に注意してください。

- CMYK モードの画像を印刷する場合
  本製品の CMYK シミュレーション機能を使用して印刷できます。プリンタドライバの［プリンタ固有機能］ダイアログで、シミュレーションの対象となるオフセット印刷機のプロファイルを選択してください。詳しくは以下のページを参照してください。
  本書 51 ページ「カラーシミュレーション機能について」

- RGB モードの画像を印刷する場合
  本製品の RGB シミュレーション機能を使用して印刷できます。プリンタドライバの［プリンタ固有機能］ダイアログで、シミュレーションの対象となる RGB プロファイルを選択してください。詳しくは以下のページを参照してください。
  本書 51 ページ「カラーシミュレーション機能について」

- Lab モードの画像を印刷する場合
  Lab モードの画像を使用してモニタとのカラーマッチングを行う場合は、プリンタに標準添付のプリンタドライバ（QuickDraw プリンタドライバ）を使用して ColorSync モードで印刷することをお勧めします。（オフセット印刷機色のシミュレーションを行う場合や RGB モニタ色のシミュレーションを行う場合は、Photoshop の［モード］メニューで［CMYK カラー］または［RGB カラー］を選択してカラーモードを変換して、上記「CMYK モードの画像を印刷する場合」や「RGB モードの画像を印刷する場合」の印刷を行ってください。）

■ ハーフトーン処理について

［用紙設定］の［ハーフトーンスクリーン］ダイアログでスクリーン線数の設定が行えますが、この設定はすべて無効となります。常に本製品の高精細ハーフトーンで印刷されます。

■ ソフトウェア上でカラーマネージメント機能の設定を行う場合（Adobe Photoshop 4.0J 以降）

Adobe Photoshop 4.0J 以降では、ソフトウェア上でカラーマネージメント機能の設定を行うことができます。この機能を使用する場合は、以下のページを参照してください。

本書 81 ページ「ソフトウェア上でカラーマネージメント機能を設定する場合の注意」

ソフトウェア上でカラーマネージメント機能を設定する場合の注意

以下のアプリケーションソフトは、ソフトウェア上でカラーマネージメント機能の設定が行えます。

- Adobe PageMaker 6.5J 以降
- Adobe Illustrator 7.0J 以降
- QuarkXPress 3.3 + HELIOS 社製 ColorSync2 XTension
- QuarkXPress 4.0J 以降
- Adobe Photoshop 4.0J 以降

これらのアプリケーションソフト上でカラーマネージメント機能を使用する場合は、本製品の［CMYK シミュレーション］と［RGB シミュレーション］を必ず［オフ］にしてから印刷を実行してください。ソフトウェアのカラーマネージメント機能と本製品の CMYK/RGB シミュレーション機能を同時に使用すると、正しい色合いで印刷することができなくなります。
☞ 本書 53 ページ「設定と印刷の手順」

各プリンタ用 ColorSync プロファイルについて

本製品には、お使いのプリンタで使用できるエプソン純正専用紙ごとの ColorSync プロファイルが添付されています。アプリケーションソフト上でカラーマネージメント機能を使用する場合は、使用する用紙種類に対応する ColorSync プロファイルを選択してください。


ポイント

- ColorSync プロファイルは、本製品をインストールする際に、自動的に起動ディスク内の［ColorSync™ 特性］または［ColorSync プロファイル］フォルダ* 内にインストールされます。
  * フォルダ名は Mac OS のバージョンによって異なります。
- アプリケーションソフトによっては、リストに表示されるプロファイル名が下記の ColorSync プロファイル名とは異なる場合があります。
- ソフトウェア上でのカラーマネージメント機能の設定方法、ColorSync プロファイルの選択方法などについての詳細は、各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
- 本製品に含まれる一部の ICC プロファイルは、GretagMacbeth ProfileMaker で作成されています。

PM-4000PX 用の用紙種類と、その対応 ColorSync プロファイル名

下表の ColorSync プロファイルは、フォトブラックとグレーインクの組み合わせで印刷するためのプロファイルです。

用紙種類	ColorSync プロファイル名
普通紙	CPS PM-4000PX Generic
スーパーファイン専用紙 2	CPS PM-4000PX SF2
MC マット紙	CPS PM-4000PX MCMP
MC 画材用紙	CPS PM-4000PX MCWP
PM/MC 写真用紙（半光沢）	CPS PM-4000PX MCRC
MC 光沢紙	CPS PM-4000PX MCGP
PX プルーフ用紙 < 微光沢 >	CPS PM-4000PX PSM


ポイント

上記以外のブラック系インクの組み合わせ用ColorSync プロファイルはありません。

PX-7000/9000 用の用紙種類と、その対応 ColorSync プロファイル名

下表の ColorSync プロファイル名の末尾に付く「PK」または「MK」は、対応するブラック系インクの組み合わせを示します。使用するインクの組み合わせに応じて、正しい ColorSync プロファイルを選択してください。

- PK：フォトブラック＋グレー
- MK：マットブラック＋グレーまたはマットブラック＋マットブラック

用紙種類	PX-7000 用 ColorSync プロファイル	PX-9000 用 ColorSyn プロファイル
MC 厚手マット紙ロール	CPS PX-7000 DMP PK CPS PX-7000 DMP MK	CPS PX-9000 DMP PK CPS PX-9000 DMP MK
MC 光沢紙ロール	CPS PX-7000 GPPW PK	CPS PX-9000 GPPW PK
PX プルーフ用紙 < 微光沢 >	CPS PX-7000 EPSM PK	CPS PX-9000 EPSM PK
MC 写真用紙ロール < 半光沢 >	CPS PX-7000 PSPP PK	CPS PX-9000 PSPP PK
MC 写真用紙ロール < 光沢 >	CPS PX-7000 PGPP PK	CPS PX-9000 PGPP PK
PX/MC 写真用紙 (厚手 光沢)	CPS PX-7000 PGPP25 PK	CPS PX-9000 PGPP25 PK
MC フォトスタンダード紙ロール<半光沢>	CPS PX-7000 PSP PK	CPS PX-9000 PSP PK
MC フォトスタンダード紙ロール < 光沢 >	CPS PX-7000 PGP PK	CPS PX-9000 PGP PK
PX/MC 写真用紙 (厚手 絹目)	CPS PX-7000 PLPP PK	CPS PX-9000 PLPP PK
PX/MC 写真用紙 (厚手 微光沢)	CPS PX-7000 PMPP25 PK	CPS PX-9000 PMPP25 PK
MC 画材用紙ロール	CPS PX-7000 WPRW PK CPS PX-7000 WPRW MK	CPS PX-9000 WPRW PK CPS PX-9000 WPRW MK
光沢フィルムロール	CPS PX-7000 GF PK	CPS PX-9000 GF PK
MC マット合成紙 2 ロール	CPS PX-7000 ESP PK CPS PX-7000 ESP MK	CPS PX-9000 ESP PK CPS PX-9000 ESP MK
MC マット合成紙 2 ロール < のり付 >	CPS PX-7000 EASP PK CPS PX-7000 EASP MK	CPS PX-9000 EASP PK CPS PX-9000 EASP MK
MC マット塩ビロール < のり付き >	CPS PX-7000 CV PK CPS PX-7000 CV MK	CPS PX-9000 CV PK CPS PX-9000 CV MK
MC/PM クロスロール < 防炎 >	CPS PX-7000 HPB PK CPS PX-7000 HPB MK	CPS PX-9000 HPB PK CPS PX-9000 HPB MK
普通紙ロール	CPS PX-7000 Generic CPS PX-7000 Generic MK	CPS PX-9000 Generic CPS PX-9000 Generic MK
MC バックライトフィルムロール	CPS PX-7000 MCBF	CPS PX-9000 MCBF
PX/MC プレミアムマット紙	CPS PX-7000 EMP PK CPS PX-7000 EMP MK	CPS PX-9000 EMP PK CPS PX-9000 EMP MK
マットボード紙	CPS PX-7000 MB PK CPS PX-7000 MB MK	CPS PX-9000 MB PK CPS PX-9000 MB MK

電子マニュアル（PDF ファイル）について

市販フォントのインストール方法を説明した「補足説明書」や、お客様から多くよせられるご質問とその回答をまとめた「Q&A 集」を、PDF（Portable Document Format）ファイルとして本製品に品添付されている CD-ROM に収録しています。これらの電子マニュアル（PDF ファイル）をお読みいただくには、Adobe 社の「Adobe® Acrobat® Reader®」（バージョン 4.0 以降）というソフトウェアが必要です。

すでに Acrobat® Reader® をお持ちの方は、本製品の CD-ROM から「補足説明書」や［Q&A 集］ファイルを直接開くか、お使いの Macintosh のハードディスクの任意のフォルダに「補足説明書」や［Q&A 集］ファイルをコピーしてから開いてください。



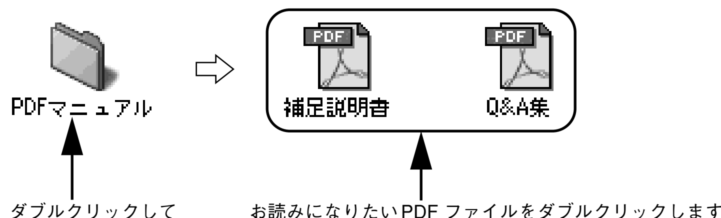
ポイント

Acrobat Reader をお持ちでない方は、本製品の CD-ROM に収められている Acrobat Reader を先にインストールしてからお読みください。Acrobat Reader をインストールするには、［Japanese Reader Installer］アイコンをダブルクリックして、画面に表示される指示に従ってください。

1. 本製品の CD-ROM をコンピュータへセットします。

2. CD-ROM 内の［PDF マニュアル］フォルダをダブルクリックし、お読みになりたい電子マニュアル（PDF ファイル）アイコンをダブルクリックします。

PDF ファイル名	内容
補足説明書	本製品に添付されている標準フォント以外の市販フォントをインストールする場合に、お読みください。各フォントをインストールする際の注意事項などが記載されています。
Q&A 集	各種トラブルの解決方法や、お客様からお問い合わせの多い項目の対処方法について説明しています。「印刷できない」などのトラブルでインフォメーションセンターへお問い合わせいただく前に、お読みください。



3. Acrobat Reader を操作して電子マニュアル（PDF ファイル）を読みます。



ポイント

- 確認したいページのしおり（PDF ファイル内左側のタイトル一覧）をクリックすると、そのページを表示します。
- 「もくじ」のタイトルや本文中の参照ページをクリックすると、そのページ（各 PDF ファイル内のみ）へジャンプします。
- ［ヘルプ］メニューを選択すると、Acrobat Reader のオンラインヘルプを表示します。インターネットに接続している場合は、Adobe 社のホームページ（http://www.adobe.co.jp）を表示したり、ユーザー登録などを行えます。

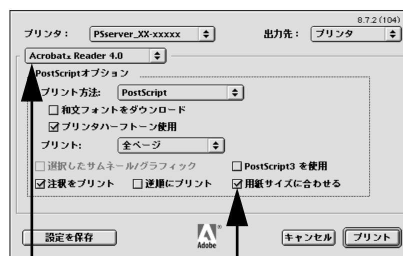
電子マニュアル（PDF ファイル）は 1 ページ A5 サイズの設定でレイアウトされています。A4 サイズの用紙に 2 面割り付けをすることで見やすいサイズで印刷することができます。印刷する場合は、さらに以下の手順に従ってください。

4. プリンタに A4 サイズの用紙をセットします。

5 ［ファイル］メニューの［プリント］をクリックします。

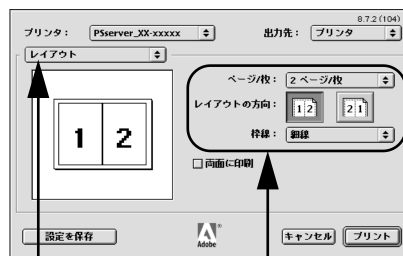


6 ［Acrobat Reader 4.0］ダイアログを開いて、［用紙サイズに合わせる］がチェックされていることを確認します。



7 ［レイアウト］ダイアログを開いて、［ページ / 枚］メニューから［2 ページ / 枚］を選択し、［レイアウトの方向］を図のように選択します。

［枠線］を選択すると割り付けた各ページを分ける枠線を印刷できますので、必要に応じて設定してください。



8 ［プリント］ボタンをクリックして印刷を実行します。

索引

ら

り

れ

わ

Memo

ご注意

①本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
②本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
③本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
④運用した結果の影響については、③項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
⑤本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修正・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。